令和7年度 信州高遠美術館照明LED化ほか改修工事

伊那市 有限会社 ワイズ創造研究所

			表紀
図面番号	図面名称 (共通)	図面番号	図面名称 (電気)
A- 00	表紙・図面リスト	E- 01	電気設備工事特記仕様書
A- 01	改修工事 特記仕様書 1	E- 02	(改修)照明器具姿図
A- 02	改修工事 特記仕様書2	E- 03	(改修)電灯設備配置図
A- 03	改修工事 特記仕様書3	E- 04	(改修) 1階電灯設備図
A- 04	改修工事 特記仕様書4	E- 05	(改修) 2階電灯設備図
A- 05	解体工事 特記仕様書	E- 06	(既存・撤去)電灯設備撤去配置図
A- 06	概要・案内・配置図	E- 07	(既存・撤去) 1階電灯設備撤去図
A- 07	構内安全仮設計画図	E- 08	(既存・撤去) 2階電灯設備撤去図
A- 08	(建築) 1階仮設計画図	E- 09	受変電設備図
A- 09	(建築) 2階仮設計画図		
A- 10	(改修) 1階平面図		
A- 11	(改修) 2階平面図		
A- 12	展示室 壁面照明 台座図		

						N		
		11. 化学物質の濃度測定	測定方法 ※パッシプ法(拡散法) ・アクティプ法(吸引法) [1.5.9]	4. 監督職員事務所	※ 設ける(・既存建物の一部を使用する ※構内に設置する) ○ 設けない (2.4.1)(表2.4.2)	8. アルミニウム製笠木	(3.9.2) (表3.9.1)	
令和7年度 信州	州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 改修工事仕様書		検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者		規 模 ※10㎡程度 ・20㎡程度 ・		種類 呼称肉厚 (mm) 表面処理 固定間隔 備考 ・250形 1.6以上 ※A-1又は ※固定方法及び間隔 隅角部及び突当り部等	
			ハ珠が印里皿がデオジルデ立外がのですで、皿目貝U・小面Uにで	⑤ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・無償)		・300形 1.8以上 B-1種 は品質計画で定めた の役物は本体製造所の	
T 中 梅 西			測定物質 Weblight bl' What weblight Water weblight with weblight weblight with weblight weblight weblight with weblight weblig	○ 丁東田泰士	機力収支の作品 ツ 利用でもない。 利用でも 7 /ツ 女際 ・無際)		・350形 2.0以上 ・B-2種 もの は様による	
I 工事概要			※未ルムアルデ・ヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルヘ・ンセ・ン ※パ・ラジ・クロロヘ・ンセ・ン ※スチレン	⑥ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・無償)		・100形 ()	
1. 工事場所	伊那市高遠町東高遠400番地		測定個所(室)	\			板材折曲げ形の取付工法 ・図示 (3.9.3)	
2. 敷地面積(㎡)	5 807 55m²		計個所	3 1. アスファルト防水	(3.3.2)(3.3.3)(表3.1.1)(表3.3.3~表3.3.10) 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別		工法 既存笠木等の撤去 ・行う (範囲 ※図示 ・)	
2. 放起面積(III)	0,001.0011		D 1 100771	防	・P1B ・B−1 ※B−2		下地補修の工法 ※図示	
3. 工事種目	改修工事		※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。	改	保護防水 ・P1BI ・T1BI ・BI-1 ※BI-2		板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示	
施 設 別	種 別 構 造 階 数 梁間(m) 桁行(m) 建築面積(m) 延面積(m)		化学物質の室内汚染濃度指針値	修	P 2 A I	9. 折板葺	[13. 3. 2] [13. 3. 3] [表13. 2. 1]	
美術館	改修 RC·S 2 1,524.66		####################################	本 \	露出防水 · M 4 C · C - 1 · ※C - 2		形 式 ※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	
			0. 08ppm 0. 07ppm 0. 20ppm 0. 88ppm 0. 04ppm 0. 05ppm		• M3D • P0D • D-1		形状(mm) 山高 () 山ピッチ () 板 厚 ※0.6 ・ 0.8 ・	
					屋内防水 ・P1E ・P2E (保護層は図示による)		(規格等) ・	
		② 完成図等	※作成する (1.8.1~1.8.3) (表1.8.1) (※完成図 (※設計図書で示したもの全て ・標仕表1.7.1による ・監督員の指示による)		フフコール 小様数 ツ 2 種		軒先面戸板 ※有り ・無し ※ 「	
			(※)完成図 (※設計図書で示したもの全て ・標仕表1.7.1による ・監督員の指示による) 作成方法 ※原図 用紙 (※トレーシン/*^*-n*-A1 ・)		アスファルトの種類 ※3種 ・4種 (3.2.2)(3.3.2) 保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート (3.3.2.2)		断熱材 ※有り(種別: 厚き・mm)・無し 耐火性能 ※30分耐火・無し	
			作図方法(※CADで作成し出力・・)		二重ドレン (PODI法の場合) ※設けない ・設ける (3.2.5)	(01110177)		
Ⅱ 建築改修工事仕様			・マイクロフィルム (アパッチャーカード付) ※製本 (原図の青焼き、見開きA1版 (1部))		脱気装置 (M3D、POD工法の場合) ※設けない ・設ける (3.3.3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装 (M4C工法の場合) ・除去する (3.2.6)	(9についての保証)	・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。	
					断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 ・ (3.3.2)		・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書(10	
1. 共通仕様 (1) 図面及が特:	記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築改修		※保全に関する資料 (2部) ※別添「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。		ただし、ノンフロンのもの。 立上り部の保護 (3.3.2)		年)を提出すること。	
	書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標仕」という。)による。		White I who had a sent of the		れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンウリートプロックとする。			
	票仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書 (最新版)」(以下 「標供」という。) 及び「建築物館は工事共通仕様書・同館説(最新版)」	① 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影 箇所数 部数 写真のサイズ (mm)		乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm	4-1 1. 施工数量調査	調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 (1.5.2) 調査内容	
	(最新版)」(以下、「標仕」という。)、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(最新版)」 (株共仕」)による。		分類・規格 撮影 箇所数 部数 写真のサイズ (mm) (※) カラー写真 外部() 内部 (16) ※2 ・ ※ キャビネ版・サービス版	2. 改質アスファルト	(3. 4. 2) (3. 4. 3) (表3. 1. 1) (表3. 4. 1~表3. 4. 3)	外	調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流	
	事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準		・ パネル (木製枠) 外部 () 内部 () ※2 ・ ※ 半切 ・ 全紙	シート防水		壁 \ 改	出の有無を調査する。	
仕様書を適用 ^っ 2. 特記仕様	9 ବ .		・カラースライド 外部 () 内部 () ※1 ・ 24×36以上 ※ 電子データ 外部 () 内部 (16) ※2 ・ ※428万画素以上		・M4ASI法 ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 ・M3ASI法 ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6	修 \	モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸 法等を調査する。	
(1)項目は、番号	号に〇印の付いたものを適用する。		—————————————————————————————————————		·\POASI法	事	コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。	
	:、①印の付いたものを適用する。 ない場合は、※印の付いたものを適用する。		電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8ピット (フルカラー)、JPEG形式最高画質 (100%画質) とし、CD-Rにて提出とする。		· M 3 A S I 工法 · M 4 A S I 工法	#	塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。	
	の付いた場合は、共に適用する。		W-Mにて使用とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者		・ M 4 A S I 工法 ・ P O A S I 工法	通	また、成件坐膜と利税工坐材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部・	
	記載の()内表示番号は、改修標位の当該項目、当該図又は当該表を示す。		※別添「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。		脱気装置 ※設けない ・設ける	事 項 ②改修材料	- 既制領令エルカル	
(4)特記事項に記(5)特記事項に記	記載の[]内表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 記載の<>内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	14 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及び	3. 合成高分子系	(3. 5. 2) (3. 5. 3) (表3. 1. 1) (表3. 5. 1)	公以修材料	・既製調合モルタル (4.2.2) 保水率 単位容積質量 接着強さ (N/mm2) 長さ変化率 曲げ強さ	
			JASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。	ルーフィングシート			(%) (Kg/I) 標準時 温冷繰り返し後 (%) (N/mm2)	
章 項 目	特 記 事 項		(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること	防水	・POST法 ・S-F1 ・S-M1 ・カラー ※非歩行 ・S4ST法 ・S-F2 ・S-M2 ・シルバー ・軽歩行		70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上	
			(3) 安定的な供給が可能であること		·S3SI法		・パテ状エポキシ樹脂 (4. 2. 2)	
1 適用基準等	→ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版)・ 敷地調査共通仕検書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 (最新版)		(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること		・ M 4 S I 法 ・POSIT法 ・SI-F1・SI-F2		初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2 0 N/mm2以上 6.0 N/mm2以上 50.0 N/mm2以上 30.0 N/mm2以上 3.0 %以下	
<u> </u>	・ 建築構造設計基準 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版)		(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること		・S3SI工法		a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	
股 共	○ 営繕工事写真撮影要綱 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版)		これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外		· S 4 S I 工法 · S I - M 3		b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。	
通	● 長野県建築工事の手引● 長野県建設部施設課監修● 公共建築改修工事標準仕様書国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版版)		部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。		・M 4 S I 工法 脱気装置 ・設けない ・設ける (3.5.3)		c. 常温 常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。	
項	○ 公共建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版版)		なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最		目地処理 PCコンクリートの場合 (3.5.4)			
	・ 公共建築木造工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版版) → 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房営繕部監修 (最新版版)		新版) 」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。 また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員	(4) 塗膜防水	※アクリルゴム系塗膜防水 (表3.1.1) (3.6.3) (表3.6.1) (表3.6.2)		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
			の承諾を受けた材料とする。		防水改修工法の種類 施工 箇 所 新規防水層の種別 仕上げ塗料塗り		引張強さ 1.0 N/mm2以上 1.0 N/mm2以上 1.0 N/mm2以上 最大引張応力 1.0 N/mm2	
	● 長野県建設リサイクル推進指針	(15) 化学物質を発散する	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、		・POX工法 ※X-1 ・L4X工法 ※X-2		伸び 30.0 %以上 30.0 %以上 破断時の伸び 10 %以上 破断時の伸び 10 %以上	
		建築材料等	次の(1)から(5)を満たすものとする。		・P1YI法 ※Y-1		比 重 押出し性 スランプ 加熱減量	
			(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルポード、その他の木質建材、		・P 2 Y 工法 ※Y - 2 ※ Y - 2 ※		表示値±0.10 60秒以下 3mm以下 5%以下	
			1/17樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4) (3.2.6) 脱気装置 ※設けない ・設ける (3.6.3)		a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。	
②品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による [1.2.2]		(3)接着剤はフタル酸ジーnープテル及びフタル酸ジー2ーエテルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒ	4. 4			c. 常温・常湿 (温度20±15°C、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存し	
	※風速 (Vo = 30m/s)		ド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。	(1~4についての保証)	防水工事施工者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。		た後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。	
	※積雪区分 建告示第1455号 別表 (50cm)		(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、	5. 脱気装置	(3, 3, 3) (3, 4, 3) (3, 5, 3) (3, 6, 3)		・タイル部分張替え用エポキシ樹脂 (4.2.2)	
3. 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)		ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		種類 材質 設置数量 ・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ()		接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度 (N/mm2) 0.60 以上 0.40 以上 0.40 以上 0.40 以上 0.40 以上 0.40 以上	
			なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少		・平面部脱気型 ・ステンレス ・鋳鉄 m³当たり1箇所		凝集破壊率(%) 75 以上 50 以上 50 以上 50 以上	
4)条件明示項目	●現場説明書による (1.3.5)		ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当		・立上がり部脱気型 ・合成ゴム 塩化ビニル樹脂 () ・ステンレス ・銅 m³当たり1箇所		皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化	
⑤ 発生材の処理等	※別紙解体工事仕様書による ●構外搬出適正処理 (1.3.8)		する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。		・ステンレス ・鯛 m当たり 1箇所		引張強さ(N/mm2) 1.00 以上 20 以上	
	また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。		規制対象外	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類 (3.7.4~3.7.7) (表3.7.1)		貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。	
	・引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの		①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		○シーリング充てん工法・拡幅シーリング再充てん工法・ブリッジ工法		耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80°℃ 4 週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないよと。	
			③下記表示のあるJAS規格品				b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。	
(6) 特別な材料の工法	改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用		シーリングの種類、施工箇所 ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする		c.「化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に 基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。	
7. 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 (1.5.2)		c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用		施工箇所 シーリング材の種類(記号)		d. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後 6 か月間保存しても上記の品質・性能の各	
	既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ・ (1.5.3)		d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用				項目に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。	
⑧ 技能士	※ 適用する (一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。) (1.6.2)		e. 非利ルストプロ・未接着利及び利ルストプロ・を放散させない塗料等使用				6.9 41抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。	
	・適用しない		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		DCD会方と		- エポセン機能エルカル	
	適用工事種目 技能検定作業 ・ 7スファルト防水工事作業 ・ ウレウン系塗膜防水工事作業		第 三 種 ①JIS及びJASの F☆☆☆規格品		PCB含有シーリング調査 ・1次分析(PCB含有分析の要否判定)		・エポキシ樹脂モルタル (4.2.2) 接着強さ 圧縮強さ	
	・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業		②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品		工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行		1.0 N/mm2以上 20.0 N/mm2以上 10.0 N/mm2以上	
	・塩化ピニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業		③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品		うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、PCB含有分析が必要な場合は協議する。 ・2次分析(PCB含有分析)		a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	
	・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業			4	PCBの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。		c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。	
	外壁改修工事 ・左官作業 ・94ル張り作業 ・建築塗装作業 建具改修工事 ・比*ル用サッシ工事作業 ・カ*ラス工事作業 ・自動ト*7施工作業	② ① 足場その他	○内部足場 種別 ※脚立、足場板等 ・図示による (2.2.1)		(1) 採取箇所 計 箇所 (2) 採取方法 分析機関の指定する方法により採取する。		d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月間保存しても上記の品質・性能の各	
i i	内装改修工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業	J - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	・外部足場 種別 ※A種(手すり先行工法) ・B種 ・C種 ・D種 ・脚立 (2.2.1)(表2.2.1)		(2) 分析方法 GCーECD法による(JIS K0114)		項目に適合していること。	
	・ポート・仕上げ工事作業・鋼製下地工事作業	以 設	防護シートによる養生 ※行う ・行わない 材料、撤去材料等の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 (2.2.1)(表2.2.1)		シーリングにPCBが含有していた場合の措置 (1)除去方法 改修標仕3.7.5(a)による			
		<u> </u>			(1)除去方法 改修標性3.7.5(3)による (2)処置方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使			
	・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業 塗装改修工事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事			用部位、PCBが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。			
	塗装改修工事	② 養生	既存部分の養生 後ピニルシート等 ①合板 (2.3.1)		\	I		
	塗装改修工事	事 ② 養生	既存部分の養生 ※ピニルシート等 ① 合板 (2.3.1) 既存家具等の養生 ※ピニルシート等 ・ 固定家具等の移動 ※行わない ・行う (図示)	7. とい	といの村種 (3.8.2) (表3.8.1)			
	塗装改修工事 ・ 連葉塗装作業 一 耐震改修工事 ・ 鉄骨組立作業 ・ 型枠施工作業 ・ とび作業 コンクリートフ・ロック・ALCパネル ・ コンクリートフ・ロックエ事作業	事 ② 養生 3. 仮設間仕切	既存家具等の養生 ※ピニルシート等 固定家具等の移動 ※行わない 行う(図示) (2.3.2)(表2.3.1)	7. とい	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管			
	塗装改修工事 ・ 連葉塗装作業 一 耐震改修工事 ・ 鉄骨組立作業 ・ 型枠施工作業 ・ とび作業 コンクリートフ*ロック・ALCの* ネル ・ コンクリートフ*ロック工事作業		既存家具等の養生 ※ピニルシート等・ 固定家具等の移動 ※行わない・行う(図示) 種別 下地 仕上材(厚さmm) 塗装	7. とい	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管	伊那市建	章記部 有限会社 ワイズ創造研究所 -級建築±事務所登録 (伊那) F第5X183号	
	塗装改修工事 ・ 連葉塗装作業 一 耐震改修工事 ・ 鉄骨組立作業 ・ 型枠施工作業 ・ とび作業 コンクリートフ・ロック・ALCパネル ・ コンクリートフ・ロックエ事作業		既存家具等の養生 ※ピニルシート等 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示) 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0・) ※無し ・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5・) ・片面	7.とい	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 鋼管製といの防露 ・次の箇所は行わない () (3.8.3)(表3.8.4) ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量	伊那市建	有限会社 ワイズ創造研究所 -級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 ア396-0022 長野県伊那市御園678 事務所開設者 伊藤 範式 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 -級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊	
(引訟機士事しの取合い)	塗装改修工事 ○建築塗装作業 耐震改修工事 ・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ・とび作業 コンクリートプロック・ALCn゚ネル ・コンクリートプロック工事作業 工事 ・エーエルシーパネル工事作業 石工事 ・石張り作業 植栽工事 ・造園工事作業		既存家具等の養生 ※ピニルシート等 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示) 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・) ※無し ・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・)・片面 ※C種 単管下地 防炎シート	7. とい	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 鋼管製といの防露 ・次の箇所は行わない () (3.8.3)(表3.8.4) ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種		〒396-0022 長野県伊那市御園678	
②設備工事との取合い	塗装改修工事 ・ 連葉塗装作業 一 耐震改修工事 ・ 鉄骨組立作業 ・ 型枠施工作業 ・ とび作業 コンクリートフ・ロック・ALCパネル ・ コンクリートフ・ロックエ事作業		既存家具等の養生 ※ピニルシート等 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示) 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0・) ※無し ・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5・) ・片面	7. とい	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 鋼管製といの防露 ・次の箇所は行わない () (3.8.3)(表3.8.4) ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量		〒396-0022 長野県伊那市御園678 事務所開設者 伊藤 範2 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊 令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 年月日 2025 . 6 .10	
③設備工事との取合い 10. 設計GL	塗装改修工事 ○建築塗装作業 耐震改修工事 ・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ・とび作業 コンクリートプロック・ALCn゚ネル ・コンクリートプロック工事作業 工事 ・エーエルシーパネル工事作業 石工事 ・石張り作業 植栽工事 ・造園工事作業		既存家具等の養生 ※ピニルシート等 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示) 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 塗装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・) ※無し ・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・) ・片面 ※C種 単管下地 防炎シート 仮設服 ※木製服 ※合板張り程度	7. EU	※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 鋼管製といの防露 ・次の箇所は行わない() (3.8.3)(表3.8.4) ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 掃除口 ※有り ・無し	工事名	〒396-0022 長野県伊那市御園678	

	T					\	
4-1	・ポリマーセメントモルタル (4.2.2)	(4)浮き部改修工法	(4. 1. 4) (4. 4. 10~4. 4. 15) (表4. 4. 3) (表4. 4. 4) (4. 4. 10~4. 4. 15)	- 3 1. 既存塗膜等の除去	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4.6.3)(表4.6.1~表4.6.4)	(12) 建具用金物	マスターキー ※製作する ・製作しない (5.6.4)
H	ポリマーセメントモルタルの種類	0,70 4,75 - 12	改修工法の種類 7ンカーピンの本数(本/㎡) 注入口の箇所数(箇所/㎡) 充てん量	及び下地処理	工法 処理範囲 下地面の補修	(5/25//1121)	建具用金物 (5.6.2)(5.6.3)(表5.6.1)(表5.6.2)
	合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ (N/mm2)		(モルタルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 (・)アンカーピンニング部分 ※16 ※25	壁	・サンダー工法 ※既存仕上面全体 ・ 4-1又は4-3による (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)		錠前類は、シリンダー箱錠 (レバーハンドル) とする なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける
改格	17 別さ		エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	改版	- ※高圧水洗工法 ※既存仕上面全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		はの、疑削類は建果製作所の指定のものとし、監督戦員の承諾を受ける 吊金物
15 I	6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上		・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml	I \	加圧力 ※30MPa (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)・ピボットヒンジ
事	表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。		土ポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50ml	事	程度以上 ・	(13) ガラス	※建具表による ※建具表による (5. 12. 2)
共	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		ポリマーセメントスラリー注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 塗	○水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体		・ガラスブロック積み(※図示)
通	・ポリマーセメントスラリー (4. 2. 2)		● 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml ・	9 (1	-		ガラスブロック 品質 JIS A 5212によるもの (5. 12. 5) 寸 法 (mm) 色 調 パターン 防火認定
項	広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性		・注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml -	上②下地調整材	※下地調整塗材 (4.2.2)(4.6.3)		***
	(cm/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ)		エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	けー・	○ポリマーセメントモルタル (※C-1 ・C-2 ・)	`	・乳白 ・カラー () ・有り ・有り ・
	3以上 3%以下 0.5N/mm2以上 15%以下 5.0N/mm2以上 保水係数 0.35~0.55		・注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml 2 ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・	壁	・防水形仕上げ塗材主材を使用	(14) ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 (5. 12. 2) (表5. 12. 1)
	粘調係数 0.50~1.00			③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 (4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4)	0,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11	建具の種類材質
	・吸水調整材 (4.2.2)		アンカービン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの		種類 呼び名 仕上げの形状 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si		アルミニウム製 ※シーリング材・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及 W軽量鋼製 ※シーリング材
	項目 全固形分(%) 吸水性(g) 接着強さ(N/mm2) 界面破断率(%)		何貝 然のかんののののは、「すい任祖間の人に存てエネン切り加工したも数		・可とう形外装薄塗材Si		対象域の発生期数
	品質・性能 表示値±1%以内 30分間で1g以下 0.98以上 50%以上				・外接薄塗材E・砂壁状・着色骨材砂壁状		防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする
	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		注入口付アンカーピン (4. 2. 2) 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm		・可とう派外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ 防水形外装薄塗材E ・ ゆず肌状 ・さざ波状 ・ 凹凸状		板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.12.3) 改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事
	・金属サイディング張り				・外装薄塗材 S ・砂壁状		「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける
4-2 ①ひび割れ部改修工法	※謝脂注入工法 (4.1.4)(4.3.4~4.3.6)				・複層仕上塗材 ・複層塗材 C E ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 ・可とう形複層塗材 C E 耐候性 ※耐候形3種 ・	15. ガラス用フィルム	
4-2 门及び割れ部政修工法	注入工法				・明とうが核暦堂材UE 開候は 次剛族が3種・ ・複層塗材Si 上塗材	15. ガラス用フィルム	名 称 種 類 張り面 性能値
外		4-4 ①既存タイル張りの撤去			○復層塗材 E 溶媒 ※水系 ・溶剤系		※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 D1
改	樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40	外	撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ ○伏況による		・複層塗材RE 樹脂 ※アクリル系 ・複層塗材RS 外観 ※つやあり ・つやなし		
修	注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70	壁②ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)		・防水形複層塗材CE ・メタリック		mag oro noroteor o
事	・機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0以下 ※150~250 ※130・	修	激制指注入工法		・防水形複層塗材E 防水形の増塗材 ※行う	16. 重量シャッター	(5. 9. 2) (表5. 9. 1)
	注入工法	エ \	注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備 考		・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS		シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧性能() N/m2
ン	注入材料 (4.2.2)	* \	樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・可とう系改修用 ・可とう系改修塗材E ・平たん状		・外壁用防火シャッター 耐風圧性能 () N/m2
7 1	※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)	9 \	・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70・		仕上塗材 ・可とう系改修塗材RE ・さざ波状 ・可とう系改修塗材CE ・ゆず肌状		・屋内用防煙シャッター
	・ 検査 (コア抜取U) ※行わない (4.3.4)	1	注入工法		・可とつ糸改修塗材CE ・ゆす肌状 防火材料の指定が必要な場合 (4.2.2)(15.5.2)		・屋内用防煙シャッター 閉形機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
 	・行う(抜取り部の補修方法:	張	注入工法		※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。		危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型)・・・スヤッターの二段降下方式 (5.9.2)
放	・ リカットシール材充てん工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)	位	注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) (4.2.2) 検査(コア抜取り) ※行わない ・行う(抜取り部の補修方法:) (4.3.4)				一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (5.9.2)
して	・ じカットシール材光 にんエ法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.3) 充てん材料 品質・規格等 備 考	上	快宜(コア放取り) ※打りない ・打り(放取り即の柵摩刀法:) (4.3.4)			17. 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) (5.10.2) (表5.10.1)
上	・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん	外		5 ①改修工法の適用	(5. 1. 3)		・塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯
け 外	ポリウレタン系シーリング材 ※行わない・行う	壁 \	充てん材料 品質・規格等 備 考 ・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん	建	建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適 用 箇 所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・塗装溶融亜鉛-5%7ルミ-ウム合金めっき鋼板及び鋼帯(5.10.3) 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (5.10.4)
壁	・可とう性エポキシ樹脂	\	ポリウレタン系シーリング材 ※行わない・行う	具	・		ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) (表5.10.2)
					・内部・ ※建具表による・図示		耐風圧性能 () N/m²
	・シール工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)		・可とう性エポキシ樹脂	エ	・鋼製軽量建具 ・ ・ ※建具表による ・図示 ・ステンレス製建具 ・ ※建具表による ・図示	18. オーバーヘッドドア	(5. 11. 2~5. 11. 4) (表5. 11. 1) (表5. 11. 2)
	シール材料 品質・規格等	③欠損部改修工法	○ タ ル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.5.7) □	*	Western man	10.3, 11.	セクション材 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質
	・パテ状エポキシ樹脂		接着剤の種類品質・規格等	2. 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具番号:) (5.1.5)		※スチールタイプ ※パランス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板
	・可とう性エポキシ樹脂		※ボリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装	3. 防犯建物部品	・適用する () (5.1.7)		・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレ入鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形 (SUS304)
			・エポキン樹脂 タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修	3. WY YEAR 193 AP AB			・パーチカル形
②欠損部改修工法	※充てん工法 (4. 1.4) (4. 2. 2) (4. 3. 7)		・ポリウレタン樹脂 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基	4アルミニウム製建具	外部に面する建具 (5. 2. 2) (表5. 2. 1)		耐風圧性能 () N/m²
	シール材料 品質・規格等 ・エポキシ樹脂モルタル		・シリコン樹脂 準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であって監督 ・タイル部分: 接替え工法用接着剤 職員の承諾するもの又は特記による。		種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工 箇所 ・A種 S-4 ※W-4 ※VW-4 ※70 ※図示	19. かぎ箱	市販品 形式 · 30組用 · 60組用 · 120組用
	○ポリマーセメントモルタル				·B種 S-5 · ·		
			・タイル張替え工法 (4.1.4) (4.5.8)		C種 S-6 A-4 W-5 100 防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 適音性の等級()	6 1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 (6.1.3)
			(4. 1. 3) (4. 5. 8) (表 4. 5. 1) (本部 1 世紀 1 日本 1 日		耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級()		※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
4-3 1. 既存モルタル塗りの	・行う(※全面・図示の範囲)		位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示		断熱ドスセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級()	内 装	○図示の範囲
外		4)浮き部改修工法	(4. 1. 4) (4. 5. 10~4. 5. 15) (表4. 4. 3) (表4. 4. 4)		表面処理 ※B-1 ・B-2(※プラウン系 ・プラック ・ステンカラー) (5. 2. 4) (表5. 2. 2)	改	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 (6.1.3) ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
壁②ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)		改修工法の種類 アンカーじンの本数(本/㎡) 注入口の箇所数(箇所/㎡) 充てん量		屋内建具	修 エ	・図示の範囲
修	※樹脂注入工法(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) (4.1.4)(4.4.2)(4.4.5) 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考		(タイルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		表面処理 ※C-1又はB-1 (5.2.4)(表5.2.2) ・ C-2又はB-2 (※プラウン系 ・プラック ・ステンカラー)	事	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 (6.1.3) ※既存のまま ②図示の範囲
エ	※自動式低圧エポキシ		エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 (M) /// (M) // (M		X DATE OF A DESTROYUE
	樹脂注入工法		・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml	⑤網 戸	防虫網 (5. 2. 3)	2. 既存床の撤去並びに	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ②図示による (6.2.2)
ー	●手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70		エボキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50ml		網の種別 ・合成樹脂製 ①ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式 ・固定式	下地補修	・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法 (6.2.2)
9	- 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0以下 ※150~250 ※130 ・		ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・		Mill Planette		改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内・ (6.2.2)
ル 塗	注入工法		・注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml	6. 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.3.2)(表5.3.1)	2 照声腔の地上地が	即从中国81位土厂水之仙办维生什办结构
9	注入材料 (4.2.2)		エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml		耐風圧性の適用は建具表による 特定防火設備の戸 ・適用する (5.3.4)	3. 既存壁の撤去並びに 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2)(4.4.9) ※図示 ・モルタル塗り (塗り厚25mmを越える場合の補強 ※行う ・行わない)
上	※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)		エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・				
げん	・ 検査 (コア抜取り) ※行わない (4.3.4)		・注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・	7. 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.4.2)	4 木下地等	木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 (6.5.2)(表6.5.2)(表6.5.3) 間伐材等・使用する(使用箇所) 間伐材等:間伐材、林地残材又は小径木であること (6.5.2)(表6.5.4)
壁	・行う (抜取り部の補修方法:)		・注入口付アンカーピンニング ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml	8. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.5.2)		現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種
			エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		耐風圧性の適用は建具表による		樹種 ※改修共仕表6.5.4による ・代用樹種を適用しない箇所 ()
	充てん材料		アンカーピン (4. 2. 2)		施工箇所 鋼材の種類 屋外 ※SUS304 又は SUS430JIL	(5)集成材等	(6. 5. 2)
	・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん		材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの		屋内 ※SUS430 · SUS304 又は SUS430JIL		種 別 施工箇所 強度等級・材面の品質性能・使用環境・樹種名・規格等 間伐材等の適用
	ポリウレタン系シーリング材 ※行わない・行う				表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ (5.5.4)		●構造用集成材 ※図示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	・可とう性エポキシ樹脂		注入口付アンカーピン (4. 2. 2)		曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強有り) (5.5.5) 特定防火設備の戸 ・適用する (表5.5.1)		・構造用短板積層材 ※図示 - 造作用集成材 ※図示
			材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm				・化粧ばり造作用集成材 ※図示・
	・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) (4.1.4)(4.2.2)(4.4.7)			9. 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作規定寸法許容差による (5.7.2)(5.7.3)(表5.7.1~表5.7.3)		ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種 間伐材等:間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。
	シールイス (株.1.4) (株.2.2) (株.4.7) シール材料 品質・規格等	5. 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 (4. 2. 2) (4. 5. 7) (4. 5. 8)		開閉方法 センザの種類		THE STATE OF STATE OF STATE AND STATE OF STATE O
	・パテ状エポキシ樹脂		まな用意による区分形状寸法 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 備考		※スライディングドア ・マットスイッチ ・電子マットスイッチ	6接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (6.5.2)
	・可とう性エポキシ樹脂		施工箇所 (mm) I類 II類 II類 II類 ii 類 ii 類 ii 類 ii 類 ii		・スイングドア ※光線スイッチ 性能 ・SSLD-1 ・熟練スイッチ ・光電スイッチ		※木工事に使用する接着剤 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下「ユリア樹脂等」という。
	・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲 ・) (4.4.2) (4.6.3)				DSLD-1 ・DSLD-2 ・多機能便所スイッチ ・) を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
					· SWD-1 · SWD-2		
					・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)		※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (6.14.2) 壁紙施工用でん粉系接着剤、1/17樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
③欠損部改修工法	既存モルタル面の欠損部 (4.1.4) (4.4.8) (4.4.9)		タイルの見本焼き ※行わない ・行う				※規制対象外 ・第三種
	→ 改修工法の種類 材料 品質・規格等 → 充てん工法 ポリマーセメントモルタル		壁タイル張りの工法 (4.5.7) (4.5.8) (表4.5.3) 外装タイル ・密着張り ・マスク張り	10. 自閉式上吊り引き戸装置	品質規格 ※改修標仕5.8.3による ・製造所標準仕様による (5.8.3)(表5.8.1)		+100 A +1
	● モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2(g)による 塗り厚25mmを越える場合の補強		外表ダイル ・	11. 木製建具	かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () [16.6.2]	伊那市鎮	建設部 有限会社 ワイズ創造研究所 -級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号
	※行う・行わない・図示	⑥目地改修工法			ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の裏面は除く) [表16.6.3]		T30 ⁻⁰ 022 投野系伊州市神國070 事務が開放名 伊藤 和文 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊
	既製目地材 ・適用する (形状 ※図示 ・) (4.2.2)		○目地ひび割れ部改修工法 (4. 1. 4) (4. 5. 16)		・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 [16\6.2]	工事名	令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー ロー
			○胂縮目地改修工法 (4. 1. 4) (4. 5. 16)		注物内のの小教建具に使用する衣面句及び接着用の柳M/M に下放取里 [10.0.2] ※規制対象外 ・第三種	, H	7 和7 年及 信別 同歴 天 刊 路 照 切 L L D L L は が 以 修 上 争 2025 . 6 . 10 図 面番号
			シーリング用材料 種類 ※改修標仕表3.7.1による (3.7.2)(表3.7.1)			図面名称	改修特記仕様書(2) A-02
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	N I	1	1			File Name: A-02 TBL 改修特記仕様書(2)

6 ₹ 防腐・防蟻処理	防腐処理 ※行う(※図示 ・) (6.5.2)		・タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2) パイル形状 パイル長 (mm) エ 法 備 考	28. 断熱材	○図示による [19.9.2] [19.9.3] 種類 施工箇所 厚き (mm) 品質等	41. カーテンレール	・新設する	(5. 1. 6) [20. 2. 14]	
rk (1974)	防蟻処理 ※行う(※図示 ・)		・カットパイル ※5~7・ ※全面接着工法		※2種 b ※25 ノンフロンのもの		材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製	[20, 2, 11]	
装	種類、品質 ※表面処理用木材保存(防腐、防蟻)剤は、監督職員の承諾するものとする		ループパイル ※4~6・ ・グリッパー工法・カット、ループ併用		* リスチレン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	42. ブラインドボックス	・既存再使用する	(5. 1. 6)	
│改	※クロルビリホスを含むものを添加しないこと。		帯電性 ※人体帯電圧3kV以下		保温材(スキン層付)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	及びカーテンボックス	・新設する		
エ	(表6. 5. 11)		・タイルカーペット (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2)		・フェ/ールフォーム ※A種 ・ ノンフロンのもの 保温材		※市販品(アルミニウム製 押出し型材) 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ※120×150	· 150 × 80	
その他の合板	種 別 施工箇所 厚さ 接着の程度 表板の樹種名・品質 防虫 その他 間伐材等 等級・性能等 処理 の処理 の適用		パイル形状 種 類 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備 考		・現場発泡 ※A種 1 ※断熱材補修部分 ノンフロンのもの		色彩 ※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ス ・図示	·テンカラー)	
	○無通合物 ※1種 ○四二 ・あり ・難燃処理		※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・		断熱材 - 般部 ※25 · ※難燃性		・凶亦		
	・ 王然太化粧合板 ・ 特種 ・ 図示 ・ あり ・ 難燃処理		・カットパイル		ロックケール、ケラスケール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルディント・の放散量	43. 天井点検口	材質 アルミニウム製 (※額縁タイプ・・目地タイプ)		
	※1種 ・なし・防災処理 ・1種 ・カリ・難燃処理		・カット、ループ併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 (フリーアクセスフロア敷設範囲)		※規制対象外・第三種	44. 床点検口	材質 アルミニウム製 (受け枠 ※アルミ製 ・ ステンレス製)		
	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(A) - 3-15 157 O 15	(6 10 0) (±6 10 1)	29. 浴室天井材	市販品	AC A@4d => 10 T. 1 24 D 400			
	2種	② せっこうボードその他 ボード張り	(6.13.2) (表6.13.1) 種類 厚さ (mm) 、規格等		対 質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備 考 ※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 準不燃品 ※200 回り縁は樋付とし、製造所	45. 鋼製書架及び物品棚		JISによる種類	
9. 軽量鉄骨天井下地	野緑等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)		・硬質木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・ ・普通木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・		・アルマイト処理品・100の標準品とする。		・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種		
9. 轻重欽有大升下地	屋外 (·19形 ※25形) 屋内 (※19形 ·25形)		・普通木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・ ・硬質木片セメント板 ・15 ・20 ・25 ・	30. フリーアクセスフロア	[20. 2. 2]	,	* 到4天初 GD 情例 * 4 作星 * 5 作星	- 0/里	
\	既存の埋込インサート ・使用する ◆使用しない (6.6.3)(6.6.4) あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない (6.6.4)		・普通木片セメント板 ・30 ・ ・けい酸カルシウム板 ※0.8FK タイプ2 (無石綿) ⑥6 ・8 ・)	\	施工箇所 構 法 仕上り高 適用地震時 耐荷重性能 表面仕上げ材 備 考 水平力	46. くつふきマット	市販品 材質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニ	ニル製(ステンレス製受枠)	
	※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う		・けい酸ガルシウム板 ※0.0ft ダイフ2 (無石柿) ・0 ・0 ・) ・		・n* 科構法 ・1.0G ・3,000N ・帯電防止床タイル			-ル製(ステフレス製受枠) Fンレス製(受枠共)	
	※天井ふところ3.0mを超える場合の補強 ※図示 耐震性を考慮した補強 ※図示		・ロックウール化粧吸音板 ※フラットタイプ(※9(不燃)・12 ・) ・凹凸タイプ(※12(不燃)・15 ・19 ・)		・清構法 ・0.6G ・5,000N ・タイルカーペット ・パ 44構法 ・1.0G ・3,000N ・帯電防止床タイル	47. 流し台ユニット			
			①せっこうボード ※12.5 (不燃) ①.5 (準不燃)		・溝構法 ・5,000N ・ 7,000N ・タイルカーペット	47. M.CGユーット	種 類 寸法(L= mm) 適用内容	規格・品質等	
10. 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5mを越える場合 ※図示・ (6.7.3)(表6.7.1)		・不燃積層せっこうボード9.5 (不燃)・化粧無 (下地張り用)・化粧有 (トラパーチン模様)		・パネル構法		・流し台 ※1200 ・1500 ・1800 トラップ付き ・コンロ台 ※ 600 ・ 700 ・ バックガード ※有り	※優良住宅部品 (セクショナルキッチン I 型)	
	A SINCE STREET SHEET AND A STREET STREET		・シージングせっこうボード 12.5 (不燃) 9.5		耐震性能5000N、高さ300以上については、平成元年建設省告示第1322号		・つり戸棚 ※1200 - 900 - 600	•	
11. 床用塗料塗り	材料 ウレタン樹脂系塗料 (※標準色 ・) 仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ		・強化せっこうボード ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・せっこうラスボード 9.5		「耐震型リリーアケセスコワの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする 表面仕上げ材の品質・規格等は、各内容工事による		・水切り棚 ※1200 ・ 900 ・ ステンレス製 ※ 1段式	※市販品	
	塗布量 プライマー塗りのうえ主剤 2 回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m゚以上とする		・化粧せっこうボード(木目) 12.5 (不燃) 幅440程度		スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示	48. 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製		
12. 防塵用塗料塗り	材料 水性アクリル系塗料 (※標準色・・・・・)		模様 (※柾目 ・板目) 専用下地材付き ・ 告通合板 (難燃処理) ・ 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)		コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示		表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り・		
100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ		・不透明塗料塗り(しな合板程度)		配線用取り出しパネル 配線用取り出し開口:パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上	49. 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ①人工大理石((仕様 ※図示)	
	塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする		・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による 厚さ1.2 ● 53.0 ・ミデ・ィ74が、ンジティファイハ・ーボート* ・3 ・7 ・9 ・12		フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30パーセント・・		奥行き(mm) ・約450 ○ 約600		
13. ビニル床シート張り	(6. 8. 2)		・単板張りパーティクルボード ・無研磨板VN ・研磨板VS		空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式:施工箇所は図示)	50. 収納家具	材質・・・・・図示による	[12. 2. 2] [19. 7. 2]	
	種類 JISの記号 色柄 厚さ(mm) ※発泡層のないもの ※NC ・ ※無地 ・マーブル柄 ※2.5 ・ 2.0		・10 ・12 ・15 ・18 ・ハードボード (素地) ・素地 ・RN-HB ・RS-HB	31. 可動間仕切	[20. 2. 3]		形状・寸法 ②図示 \・ 合板類、MDF及びパーラィクルポードのホルムアルデヒド放散量		
	・発泡層のあるもの ※柄物・無地		2.5 3.5 5 7		構造形式 パネル部の 表面材種 表面仕上げ 遮音性能 防火性能		※規制対象外 · 第三種		
	· \		・インシュレーションボード ・T-IB ・A-IB ・S-IB ・9 ・12 ・15 ・18			 51. 防煙垂れ壁	・固定式		
	工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所:) (6.8.3)		・ロックウール吸音ボード 1号 ※25		・スタッド式 (※0.6 ・0.8) アクリル樹脂焼付け () ・なし		材質 厚さ(mm) 高さ(mm) ※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ	備考	
14. ビニル床タイル張り	(6.8.2)		・グラスウール吸音ボード32K ※25 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量		・スタッドパネル式 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ ・線入り磨板ガラス ・	ミ製枠付	
	種 類 JISの記号 厚さ(mm) 備 考 ※コンポジションビニル床タイル(半硬質) CT ※2		※規制対象外 ・第三種	32. 移動間仕切	[20.2.4] 適音性能による区分 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法		- 可動式		
	※コンポジションビニル床タイル(半硬質) CT ※2 ・コンポジションビニル床タイル(軟質) CTS ・		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [19.7.2][表9.6.1]		巡告性能による区が 序さ (mm) 表面付 表面で上げ 採作力法 ・一般タイプ ※ 鋼 板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式		で可動式 種類 材質 高さ(mm)	備考	
	・ホモジニアスビニル床タイル HT ・		※適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			ドレール 固定式(壁埋込型)	
					(36dB以上) ・ ・ 壁紙張り ・ 部分電動式			可動式(天井収納型)	
15. 帯電防止床タイル張り	(6.8.2) 種 類 厚さ(mm) 性 能	24. 吸音材	(表6.13.1) 種類 JISの記号 厚さ (mm)		遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に 準拠する			仕上げ 天井材張り	
	・コンポジションビニル床タイル ※2 ・ 体積抵抗値(JIS K 6911による)		・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・	33. トイレブース	表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) [20.2.5]				
	・ホモジニアスビニル床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10°Ω以下、または、		・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 ・		・ポリエステル樹脂系化粧板 足形状 ※幅木型 ・足金物型		降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)		
	· ×10¹°Ω未満	25. 壁紙張り	○図示による (6.14.2)	OA MHYTONIA I IA	Lt. 75 1				
16. 視覚障害者用床タイル	ブロックパターンはJIS T 9251による (6.8.2)		施 工 箇 所 単紙 の 種 類 防火性能 備 考 析 機維 プラ その他 無機質	34. 階段滑止め	材 種 ステンレスSUS304 [20. 2. 6] 形 状 ビニルタイヤ入り				
(誘導用及び	色彩は黄色を原則とする		(織物) (ビニル) (化学繊維) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		両端フラットエンド ※有り(\ステンレス製 ※ビニル製) ・無し 幅(mm) 約35				
注息喚起用床材)	屋内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル(※300 ・) ・レジンコンクリート製				取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法				
	屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル(※300 ・)		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	35. 階段手すり	種 別 施工箇所				
17. ビニル幅木	高さ (mm) ・60 ・75 ①00 (6.8.2)		※不麼・準不麼・難麼	33. 陷权于9 9	※集成材クリアラッカー仕上げ				
18. 合成樹脂塗床	(6.10.3) (表6.10.3~表6.10.7)		素地之しらえ (6.14.3) (表7.2.4) (表7.2.7) モルダル、プラスター面 ※RB種・RA種(施工箇所:)		(市販品 径 約45mm) - ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)				
	種 別 仕上げの種類		せっこうボート面 ※RB種 ・RA種(施工箇所:)						
	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ		壁紙のホルムマルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種	36. 黒板及び ホワイトボード	[20. 2. 8] 種類 寸法(mm) 色彩 備 考				
	・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑 ・防滑)	26. モルタル塗り材料	吸水調整材 (6. 15. 3)		・黒板 ※焼付け ※縁 ・黒 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分		\	\	
	・樹脂モルタル仕上げ(※ 本滑 ・防滑) ・防滑仕上げ		全		※緑 ・黒 ・ホワイト ※ほうろう ※白 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分				
	ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種		均質で有害と認められる異物の混入がないこと		ボード				
	次が明月 永7 下 ・		防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤)	37. 表示	衝突防止表示 ※図示(市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・) [20.2.10]				
19. フローリング張り	(6. 1)、2~6. 11. 7) (表6. 11. 1~表6. 11. 4) 種別材種工法は仕上げ塗装等間間伐材等の適用		防水剤の種類 建築用のモルタン(に用いるセメント防水剤(JIS A 1404による試験) 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比		(・両面 ・片面)				
	※天然木化粧複合フローリング ※なら ※釘どめ工法(C種) ※塗装品 ・		セメント重量 JIS R 5201の試験8において 70%以上 95%以下 80%以下		表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。				
	・単層フローリング ・ひのき・ ・無塗装品・		の5%以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内		誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による				
			膨張性のひび割れ及びそりがないこと JNS R 5201の試験9	38. ブラインド	・既存再使用する (養生方法:) (2.3.1) (5.1.6)				
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 間伐材等:間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること		既製目地材 ※適用しない ・適用する		・新設する [20.2.12] 形式 種類 スラットの幅(mm)				
00 8 4 4		27. 陶磁器質タイル張り			※横型 ※ギア式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25				
20. 畳敷き	<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>施工箇所 形状寸法 給水率による区分 うわぐず 役物 色 再生材 耐凍害性 備考</td><td></td><td>・操作棒式 ・ ・縦型 ・1 本操作コード式 ・アルミスラット ・80</td><td></td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td>施工箇所 形状寸法 給水率による区分 うわぐず 役物 色 再生材 耐凍害性 備考</td> <td></td> <td>・操作棒式 ・ ・縦型 ・1 本操作コード式 ・アルミスラット ・80</td> <td></td> <td></td> <td></td>		施工箇所 形状寸法 給水率による区分 うわぐず 役物 色 再生材 耐凍害性 備考		・操作棒式 ・ ・縦型 ・1 本操作コード式 ・アルミスラット ・80			
	改修標仕表6.5.9による床組 ・ A 種 ※B種 ・ C種 ・ D種)					※2本操作コード式 ・クロススラット ・100 \			
	置表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする								
21. ポリスチレンフォーム	/ンフロンのもの		役物:標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする	39. ロールスクリーン	9+ 500 Ad. 60-				
床下地材	畳下地 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 (不燃)		タイルの見本焼き ※行わない ・行う (※ 外壁タイル ・)		電動 手引 (防炎性能)				
	7ロ-リング 類 厚さ(mm) ※80 ・95 (不燃)		内壁タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り						
22. カーペット敷き	・織じゅうたん (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1) (表6.9.2)							\	
	種 別 パイル形状 色 柄 等 備 考 ・A種 ・カットパイル ※無地								
	・B種 ・ループパイル ・柄物 (標準品)			40. カーテン	(2.3.1) (5.1.6) (2.3.1) (5.1.6)	伊那市 伊那市 强	津設部 有限会社 ワイズ創造研究所 -#	級建築士事務所登録 (伊那) F第5X1835	
	・ C種 ・カット、ループパイル併用 ・				・新設する [20√2.14] 加工箇所 形式 装置 ひだの種類 性能 備客	IL ULU (IL VIII)	三 5又 ロP 〒396-0022 長野県伊那市御園678	事務所開設者 伊藤 範3級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊	
					片引 引分 電動 ひも引 手引	エ 事 名		5.丁事 ^{年月日}	
						<u>-</u> 7 1	1971年7月 19711同歷天門路 然为CLV111675以修	2025 . 6 .10	
						図面名称	改修特記仕様書 (3)	図面番号	

File Name : A-03 TBL 改修特記仕様書(3)

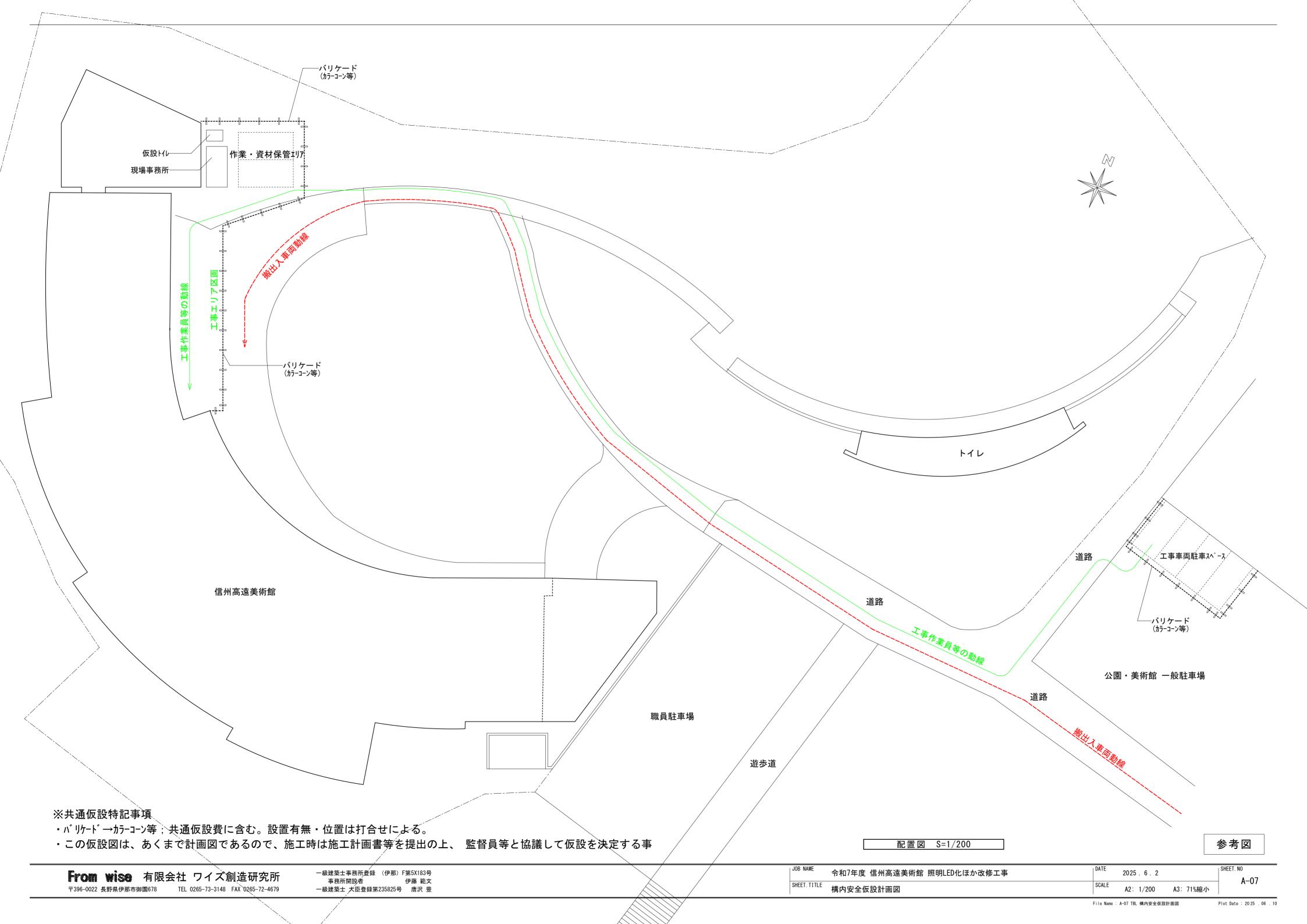
$ar{k}$ 以制対象外 ・ 第三種 $ar{k}$ は、 $ar{k}$ は、 $ar{k}$ も $ar{k}$		T				T		T	T		
Care	①材料				①アスベスト含有分析 調査	分析によるアスペスト含有建材の調査 ・ 行う(下表による)○ 行わない(疑わしき建材は安定処理をする)[9.1.1]	9. 透水性アスファルト 舗装改修工事 G	※再生クラッシャラン(RC-40) G			
Part		※ 規制対象外 ・ 第三種	重		環						
Part	装 ② _{下地調整} 改		下州田敷の番別		境						
Marriad Marr	修 エ	木部	· RA種 ※ RB種		慮 改	※ 定性分析 · 定量分析		遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]			
Property column Property c	事				修						
Part					事						
March Marc				(2-UE)、(2-ASE) 及び				盛り土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1]			
Martin				1							
Total Tota				•	0.75.01.00.10.4.30.00			※添加材料による安定処理 [9.7.3][表9.7.3]			
March Part		※ 行わない ・ 行う (補修範囲	日及ひ補修万法は図示)			・ 行う (測定名称及び測定点は下表による)					
The state of the	③塗装塗り										
The content of the				塗替え 新規		箇所ごと)		路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土)			
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			不部 (外部)	– ,–							
## 15 17 18 18 18 18 18 18 18			木部 (内部)								
Miles 14 15 15 15 15 15 15 15			鉄鋼面	※ B 種 · A種 · B種		・ 測定 4 処理作業中 セキュリティーソ・一ン入口 各 点 空気の流れを確認		歩道部 ※ストレートアスファルト			
Transport Tran			亜鉛めっき鋼面				(の) PCB含有シーリング				
March Marc			细刺建且			(処理作業室外の場合)	材処分				
March Column Co				[7. 4. 5]		敷地境界					
The contract The				[7. 6. 3]		(沙-)姜生中)					
Part		・アクリル樹脂系水分勤系涂料涂				敷地境界					
Manual Content of the Content of t		(NAD)		[7. 7. 2] (18. 6. 2)							
Part				[7 0 0]				除去範囲 ※図示			
Company Comp						アスペスト粉じん濃度測定方法					
April Apri			・ 3 級(ポリウレタン樹脂塗料)			アスペスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学		17			
Controlled Con			上塗り	○B種 [7.8.3]				○ CB含有シーリング材について			
March Conference March Confe											
中国			・3級(ポリウレタン樹脂塗料)					C:第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材でなければ、PCBは使用されていない			
Text Cold			コンクリート面	・B-1種 ・B-2種 ・B種							
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1				I I		試料の透明化 アセトンートリアセチレン法又は、シュウ酸ジェチル法		○当工事について			
1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			押出成形セメント板面	· A-1種 · A-2種 · A種							
************************************						定量限界					
### 15-13		・つや有り合成樹脂	屋内木部								
10.50 10		エマルションペイント塗り		[7. 9. 3] [7. 9. 3]		イ、測定時間					
### 1997 - 1		(EP-G)	屋内鉄鋼面								
### 1995 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997			屋内亜鉛めっき鋼面								
# 15-7-16			コンクリート面	※ B 種 ・A 種 ・B 種							
			モルタル面	※ B 種 · A種 · B種							
中国			プラスター面		の除去 (レベル1)						
日本日本			サッこうボード面								
10 日				[7. 9. 2] [7. 9. 2]		※ 密封処理(二重袋梱包)					
10-02 10		_	リー塗装面 -								
日本の日本 19月			コンクリート面	1							
# 2.5 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7			モルタル面	※ B 種 ・A種 ・B種							
************************************			プラスター面	※ B 種 ・A種 ・B種	の除去 (レベル 2)						
- 森田田正でかしつ相談を用名 内心の 内心の			せっこうボード面								
PT 739-78 **PO 25 **PO 10 12 12 12 13 13 14 14 18 18 14 18 18 18				[7. 10. 2] [7. 10. 2]	Change at A to the service						
************************************			プラスター面・せっこうボード	面 • C種 [7.11.2]	1 -						
10 20 10 20 20 20 10 20 20 20 20 10 20 20 20 10 20 20 20 10 20 20 20 10 20 20 20 10 20 20 20 20 10 2		- ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)			6. 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9.3.2]					
「D.5.2」				[7. 12. 2] [7. 12. 2]		材料名 厚さ(mm)					
- 元月 日				[7. 5. 2] [7. 5. 2]		・押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロン G)					
1/1.4.2 1/1.4.2 1/1.4.2		・オイルステイン塗り (OS)	木部 	[7. 13. 2]							
日本語 日本						外装材の種類 「ロマウ」					
7. ガラス改修工事											
2. ガラス改修工事 通気層 ・有り(m) ・なし [9.3.4] が終度工、工法及が最短は、機器できる資料を提出し監督額員の承諾を受ける 特定歴史事項は、製造所の比較による [9.4.2] 所能性・日射流へい性による区分 ※ 18-1 ・ 18-2											
通気層 ・有り(m) ・なし (9.3.4) 試験性元、工法及び会質は、複型できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける 特殊監告を有限は、製造所の仕稿による。 (9.4.2) 転続性・日経さい性によるほグ ※ Up-1 ・ Up-2 (9.6.1) ・ 関連者のようの原文 連長表による (9.6.1) ・ 関連者のなどの存在 (9.6.1) ・ 関連者のなどの存在 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのは、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいる異類の事態を可能では、 (9.6.1) ・ では、これのいるとは、 (9.6.1) ・ では、これのいるとは、 (9.6.1) ・ では、 (9.6.1) ・ (
# Rome					7. ガラス改修工事	通気層 ・有り (mm) ・なし [9.3.4]					
おいます						特記無き事項は、製造所の仕様による。					
他報酬を取りが対対 1.0 1.											
### (中部市建設部					2 屋上緑ル水板で煮り					- m A 11 - / - A 211	
エ事名 令和7年度信州高遠美術館照明LED化ほか改修工事 年月日 2025 . 6 . 2 図面名称 改修特記仕様書(4) 図面番号 A-04					0. 座上綵化収修工事(년)	※屋上緑化軽量システム			伊那市	マニュス ロア 〒396-0022 長野県伊那市御園678 事務所開設者	伊藤 範文
工事名 令和/年度信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 2025 . 6 . 2 図面名称 改修特記仕様書(4) 図面番号 A-04											
図面名称 改修特記仕様書(4) A-04									工事名	令和/年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事	2025 . 6 . 2
File Name: A-04 TBL 改修特記仕樣書(4)									図面名称	改修特記仕様書 (4)	
						•		•		File Name : A-04 TBL 改修特記仕樣書(4)	

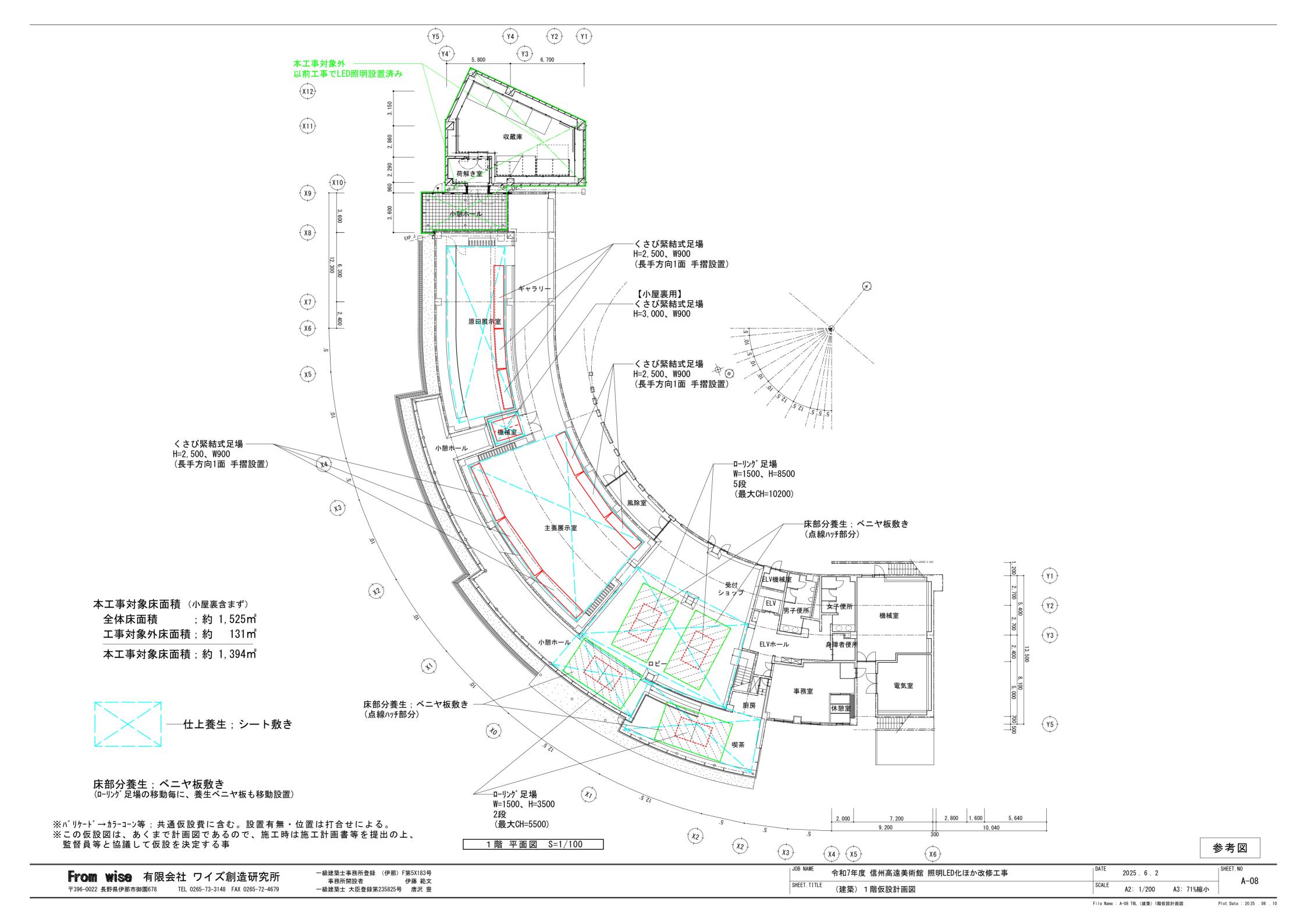
					・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。	2 特別管理産業廃棄物	<4. 4. 1>			報告書の作成(記録する項目)
		**************************************			図面番号 記号	の処理	特別管理産業廃棄物 仕様 数量 備 考			ア、測定結果
	节和/年度 信州局	遠美術館 照明LED化ほか改修工事 解体工事仕様書					の種類 - 廃石綿等			イ、測定時間 ウ、測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)
							JPC 14 490 NF			エ、サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
I	解体工事概要									オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数
Ι.	- 東坦	尹那市高遠町東高遠400番地					※処理施設の名称、所在地は現場説明書による			キ、測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
'				5 屋外設備等	電柱の撤去 ・行う (/ 図による) ・行わない					77.07.1.47.1144.0154
2	敷地面積(㎡) 5	5, 807. 55 m²			外灯の撤去 ・行う (/ 図による) ・行わない	③ PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類 <5.4.3>			アスベスト含有吹付け材の除去 (6.3.2) ・行う 除去方法は6.3.2による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様
3	除却対象物	・建築物 ・エ作物 ・建築設備 ・家具等 ・樹木 ①その他 建築物内装		6 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 (3.11.1)	U TODE E CIRTIES	① 蛍光灯			とする。
_	除却対象建築物				・行う					除去物及び汚染物質等
-	美術館	RC · S 2 1, 524. 66			整地高さ ・現状G L ・行う (/ 図による)	4 PCB含有シーリング材	##. # \			処理方法
-					埋戻し及び盛土の材料 ・本現場の土移動で整地(搬入土は用いない) ・耕土	4 PODB有7~177 M	撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。			※密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機
-					・山砂の類 ①他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。					フィルタについても密封処理を行う。
					・行わない		撤去範囲			・セメント固化
II	解体工事仕様			O			※ (図示 / 図による)		4 7スベスト含有保温材等	アスベスト含有保温材の除去 〈6.4.2〉
	1. 共通仕様		4	① 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムに				の除去(レベル2)	・行う (0.4.2/
		仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事 新版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土	建		データ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用	5 特殊な建設副産物の	⟨5. 5. 1⟩			作業上の隔離
		ff版/](以下、「肺体共位]という。/により、肺体共位に記載されていない争項は、国工官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標仕」という。	設		促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出する	改修及び処分	回収及び処分を行う特殊な 対象機器名称 備 考			・行う ・行わない
		改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標仕」という。)による。	廃棄		ものとする。		建設副産物の種類			- 1145.0A.
	0 #+=7.4.**		物	② 再資源化等	<4. 4. 1>				⑤ アスベスト含有成形板	アスベスト含有成形板の除去 〈6.5.2〉
	2. 特記仕様 (1)項目は、番号	に〇印の付いたものを適用する。	の		建設廃棄物の種類 備 考				の除去(レベル3)	・行う 対象物有れば行う
	(2)特記事項は、	●印の付いたものを適用する。	理					\bigcirc		
	○印を図印の	い場合は、※印の付いたものを適用する。 付いた場合は、共に適用する。			・コンクリート ・コンクリート及び鉄からなる建設 資材 (PC板、コンクリート平板、			\cup	①工事現場の環境 改善について	工事現場のイメージアップ ○仮囲い周辺の美化
		載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。			コンクリート二次製品)			そ		地域住民への情報提供
					・木材 ・木材 (縮減)		※回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による	他		・情報掲示板の設置・パンフレットの作成
<u></u>		4 25			・フスファルトコンクリート		小四本木は木はたけ物がもだ、木目物の「たり物が有がはが物の物質による			住民に対する災害防止関係 現場出入口周辺への誘導員の配備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
章	項目	特記事項	1		・金属類 ・小 エー 'カ 学 ' h		・建材のアスベスト含有調査済み。詳細は別図による。			O TO THE WILL STATE OF THE WILL
	① 適用基準等	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			・小形二次電池 ○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)			②産業廃棄物の	産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。
	① 週用基準等	・営繕工事写真撮影要綱 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版)◆長野県公共建築工事の手引き 長野県住宅部施設課監修			・硬質塩化ビニル管、継手ア	69 보	 ・ 行う (下表による) ・ 行う (下表による) ・ 村 料 名 調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル) 		取扱いについて	(i) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録 ① 処理の全部又は一部を委託した場合
—		●建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版)			\\ \times_{\tilde{\chi}}		- 解体撤去建材			ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票 (以下「マニュフェスト」という。)A票、B2票、D票及E票(建Ⅱの
般共		○公共建築改修工事標準仕様書 □土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版)					※ 定性分析 · 定量分析			場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表
通		・連設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という。)・ 理成10年12月1日建設省経建発第333号・ 建設工事公衆災害防止対策要綱・ 建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導្厚監修			 		※ 定性分析 ・定量分析			イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)
事項		●長野県建設リサイクル推進指針		3 現場利用する再資源化	〈4. 4. 1〉 百有		採取箇所 ※ 図示 ・適宜			② 請負者が自ら処理した場合
^				された建設廃棄物	名称 仕様 数量 備考 建		分析対象			アマニュフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表
					M		※ アスベスト 6 種類(アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、			イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)
					除 +		アンソフィライト、トレモライト) 分析方法			③ 特別管理産業廃棄物の場合
	2. 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)					※ JIS A 1481 「建材製品中のアスペスト含有率測定方法」による			①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。
	3. 施工条件明示項目	. (1. 3. 5)					分析結果については、監督職員に提出すること。			(ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施書に記載する事項
	0. %L—XII 77.70XL	,,		4 産業廃棄物広域認定 制度の活用	<4. 4. 2>					発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等
	4. 引渡しを要するもの	※引渡しを要するもの (1.3.10)		即及びた所	種 類 備 考	2 アスペスト粉じん濃度	アスベスト粉じん濃度測定 <6.1.4>			(前)写真
		名 称				測定	・行う(測定名称及び測定点は下表による)			① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること。)
							アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学			③ 使用機械類
		・現場説明書による					顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。			④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真
	5. 解体工事施工技士	本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。			※所在地は現場説明書による		測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。			(5) しゅん工時の全景写真(着手時と同一アングルとする。) (6) その他監督職員の指示による
				⑤ 最終処分する	対象物有れば適用		測定箇所 ※図示			
\vdash	O D#7.0#	D.思え続は7.思入 「「デャリルケートに関するおくじって、」 についず、 (原本光紙小	1	建設廃棄物	名 称		測定名称 測定時期 測定場所 測定点(各施工 備 考		3. 騒音、振動調査	調査の有無 ※無 ・有 調査方法については設計図書による。
2	① 足場その他	足場を設ける場合、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の			→ プスベスト含有成形板 ※安定型 - 臭突管		が見た古が が見た。			□門 且 刀 (A 〜
仮		組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さ			(・)廃石膏ボード ※管理型 7スベスト含有のものを含む		・測定 1 処理作業室内 各点 -		4. 土壌調査	調査項目・土壌調査・土壌調査(含有量試験)・/ルマルヘキサン抽出調査・廃棄物含有調査
設		ん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における					 測定 2 処理作業前 施工区画周辺又は 計 点 ー 敷地境界 			土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。
工		2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。		C 加现1. 注意大声十二	※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による		・測定 3処理作業室内各 点一			
	② 騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策		6 処理に注意を要する 建設廃棄物	(4.5.1) 名称 仕様 数量 備考		・ 測定 4 処理作業中 セキュリティージーン入口 各点 空気の流れを確認 ・ 測定 5 負圧・除じん装置 各点 除じん装置の		⑤官公庁その他への	(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。
		※防音パネル ・防音シート <2.2.1>			名 称		の排出口		届出手続等	(2)前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
		設置範囲及び高さ					(処理作業室外の場合)		⑥ 疑義に関する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によるこ
		※ (図示 / 図による)					・ 測定 6 施工区画周辺又は 計 点 ー 敷地境界			とが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。
	③ 監督員事務所	 ・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ◆設けない ⟨2.3.1⟩ 			※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による		・ 測定 7 処理作業後 処理作業室内 各 点 -		7. 文化財その他の埋蔵物	工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。
		規模及び仕上げの程度は現場説明書による					・ 測定 8 (シート養生中) 施工区画周辺又は 計 点 ー			その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定
	④ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)	[5]	① 施工調査	→対象物有れば適用<5.1.3>		敷地境界 ・ 測定 9 処理作業後シート 処理作業室内 各点 一			めるところにより、発注者が保有する。
	A T###	機力圧力の依然 火型中でもむい ちのでもで ハンナー ケー	特	-	分別調査を行う特別 採取する部位 採取する数量 備 考 (・ 測定 10 撤去後1週間以降 調査対象室外部 計 点 -		8. 埋蔵文化財調査	「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当・該当する・該当しない
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)	別		管理産業廃棄物等の種類 又は箇所等		の付近			掘削作業時の教育委員会等の立会い・有・無・
	1 杭の解体	・行う ・行わない <3.8.2>	理		・図示 - ビ=ル床タイル		アスペスト粉じん濃度測定方法			埋蔵文化財調査の時期 ・解体工事終了後 ・解体工事中
3	・ 行いノガギ1本	・行う ・行わない <3.8.2> 杭の解体工法	産業		- · 図示		別定3 測定1, 2、4、6, 7, 8, 9, 10 測定5			
解		・引抜き工法・破砕による解体	廃		蛍光灯 ・ 箇所 ・図示		MINE MAINE			
体	2 ##+#	樹木の伐採伐根及び移植 <3.9.1>	棄物物		- 凶示 - 箇所		計数機器 位相差顕微鏡			
施	2 樹木等	何木の比(株) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	等		PCB 含有シーリング分析調査 〈5. 4. 4〉		メンプ レンフィルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流量 1 I/min 5 I/min 10 I/min			
			の加		・第一次判定		試料の吸引時間 5min 120min 240min			
	3 地下埋設物・埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 <3.10.1> ・行う(/図による)	理		現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・第二次判定		試料の透明化 アセトンートリアセチレン法又は、シュウ酸ジェチル法 計数条件 総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野			
		117 (/ 図による)	等		専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。		計数アスベスト 直径3 μ m未満、長さ5¥U+03bcm以上、長さと直径比3:1以上			
	4 設備機器等	解体事前処理(油類タンク)			・絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の		50 f/I 0.5 f/I 0.3 f/I			
		・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。			検討方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの 分析方法規定(電気技術規定JEAC1201-1991)」により行う。					
		・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。			・焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン					
		解体事前処理(冷媒) ・冷媒を屋外機にポンプダウンした後轍去を行う機器は下記による。			類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。 調査済み (・)PCB含有シーリング材について					
		図面番号 記号			A: 1973年(昭和48年)以降に着工した建物には、PCB含有シーリング材は使用されていない					
					B; 1972年(昭和47年)以前に着工した建物は、シーリング材の種類を判定する(第一次判定)					
					C; 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材でなければ、PCBは使用されていない D; 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材の使用が確認された場合は,					
					PCBが使用されている可能性が有り、分析を行い第二次判定をする					
					当工事について対象建物→1990年 平成2年設計(昭和48年以降新築着工); A					
					CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF					伊那市建設部
										1/ /31- ·1- ~- H^ HI'
ш										

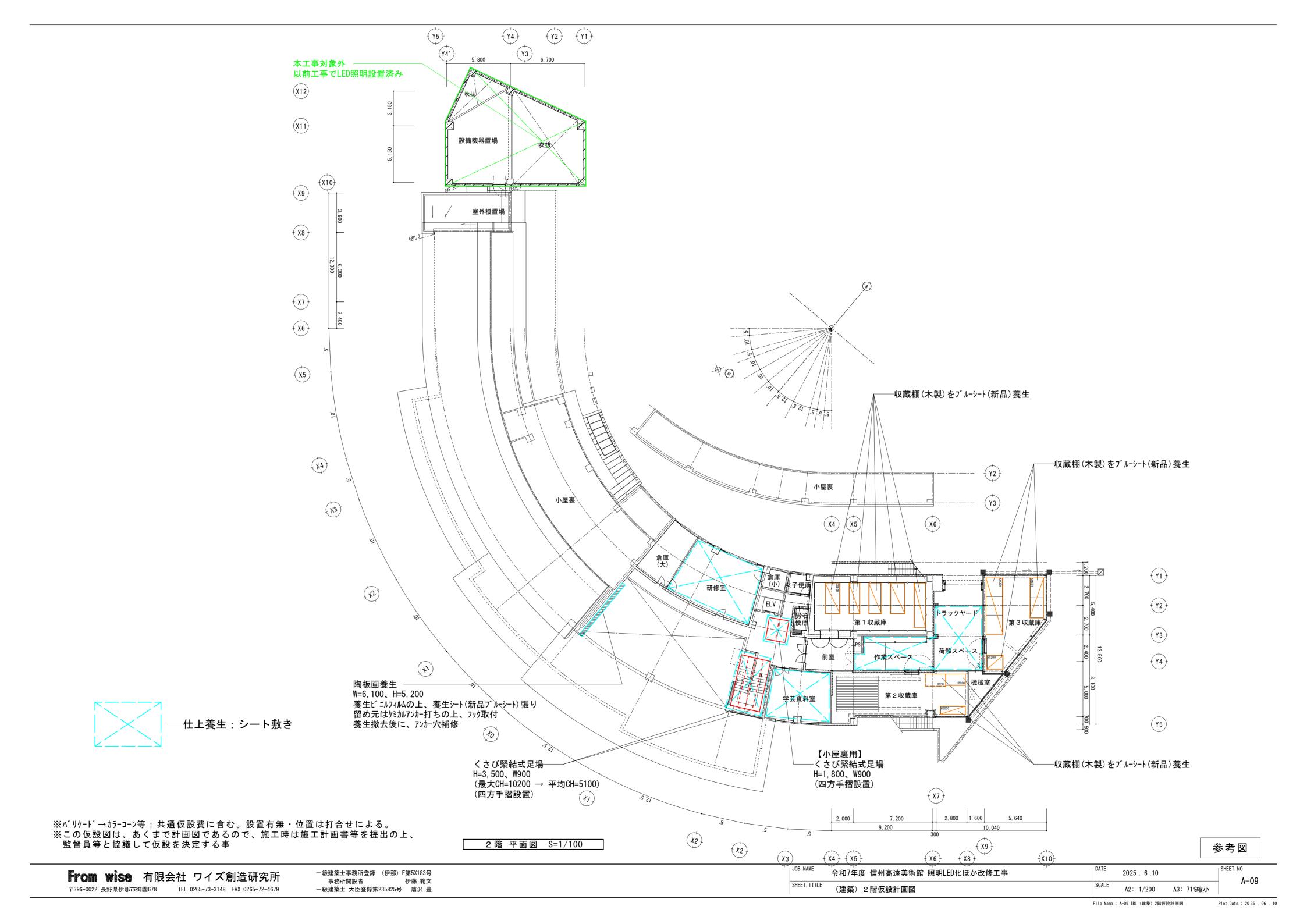
From wise 有限会社 ワイズ創造研究所 〒396-0022 長野県伊那市御園678 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 一級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 事務所開設者 伊藤 範文 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊

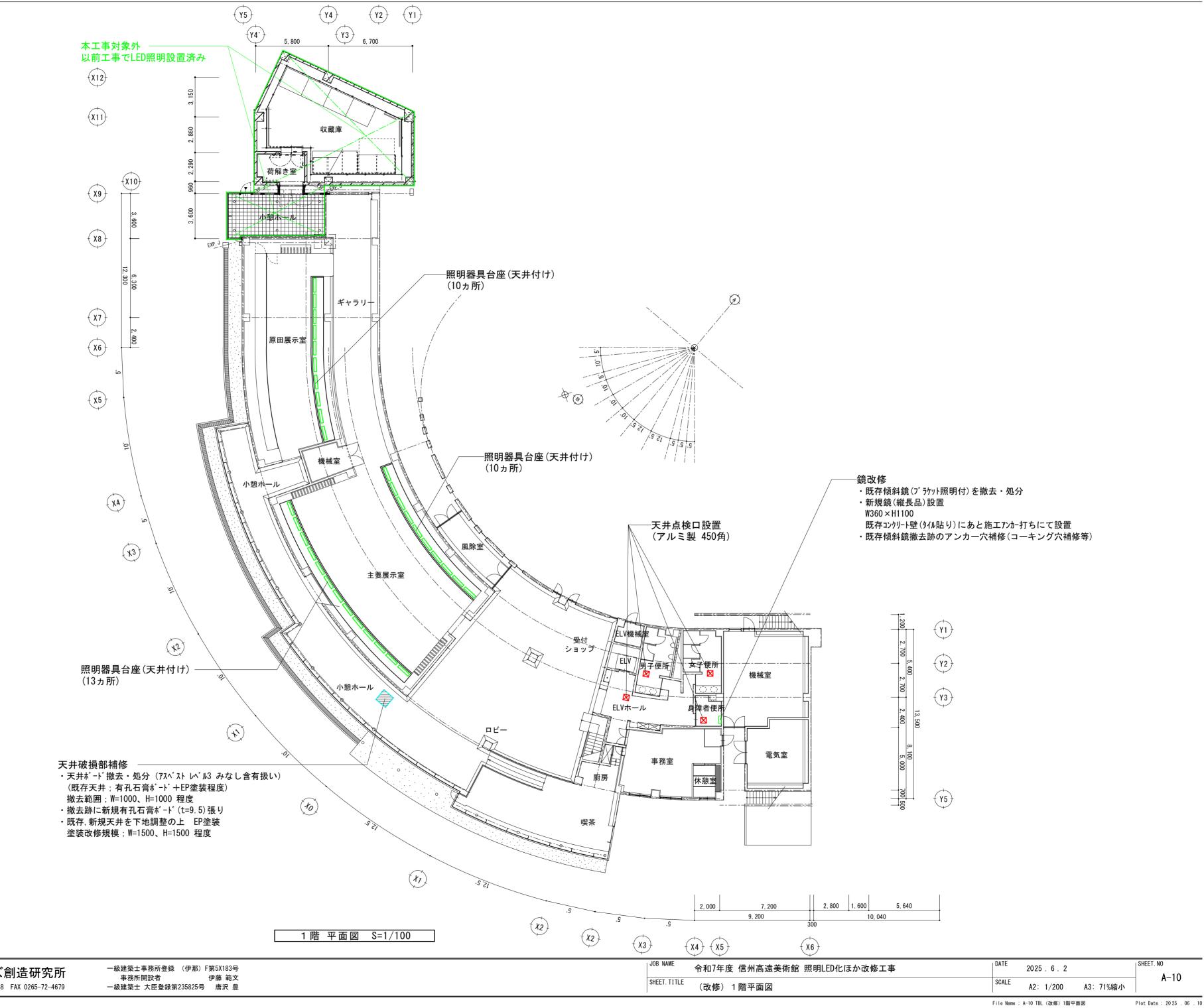
工事概要 1. 工事名称 令和7年度 信州高遠美術館 LED化ほか改修工事 2. 工事場所 伊那市高遠町東高遠400番地(信州高遠美術館) 用途地域 都市計画区域内 第1種中高層住居専用地域 防火地域 指定なし (その他の地区・地域 指定なし 3. 敷地面積 5,807.55㎡ 4. 工事範囲 A)信州高遠美術館 本体建物 ・電灯設備改修(照明LED化改修・受変電設備改修) B)外構 ·電灯設備改修(照明LED化改修) ―エ事場所 トイレ 道路 信州高遠美術館 道路 道路 駐車場 *_*遊歩道_/ 構内電柱 外灯盤柱 工事場所 工事場所:伊那市高遠町東高遠400番地 (信州高遠美術館) 付近見取図 遊歩道 配置図 S=1/300 令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 2025 . 6 . 2 From wise 有限会社 ワイズ創造研究所 一級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 事務所開設者 伊藤 範文 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊 A-06 SHEET. TITLE 概要・付近見取図・配置図 〒396-0022 長野県伊那市御園678 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 A2: 1/300 A3: 71%縮小

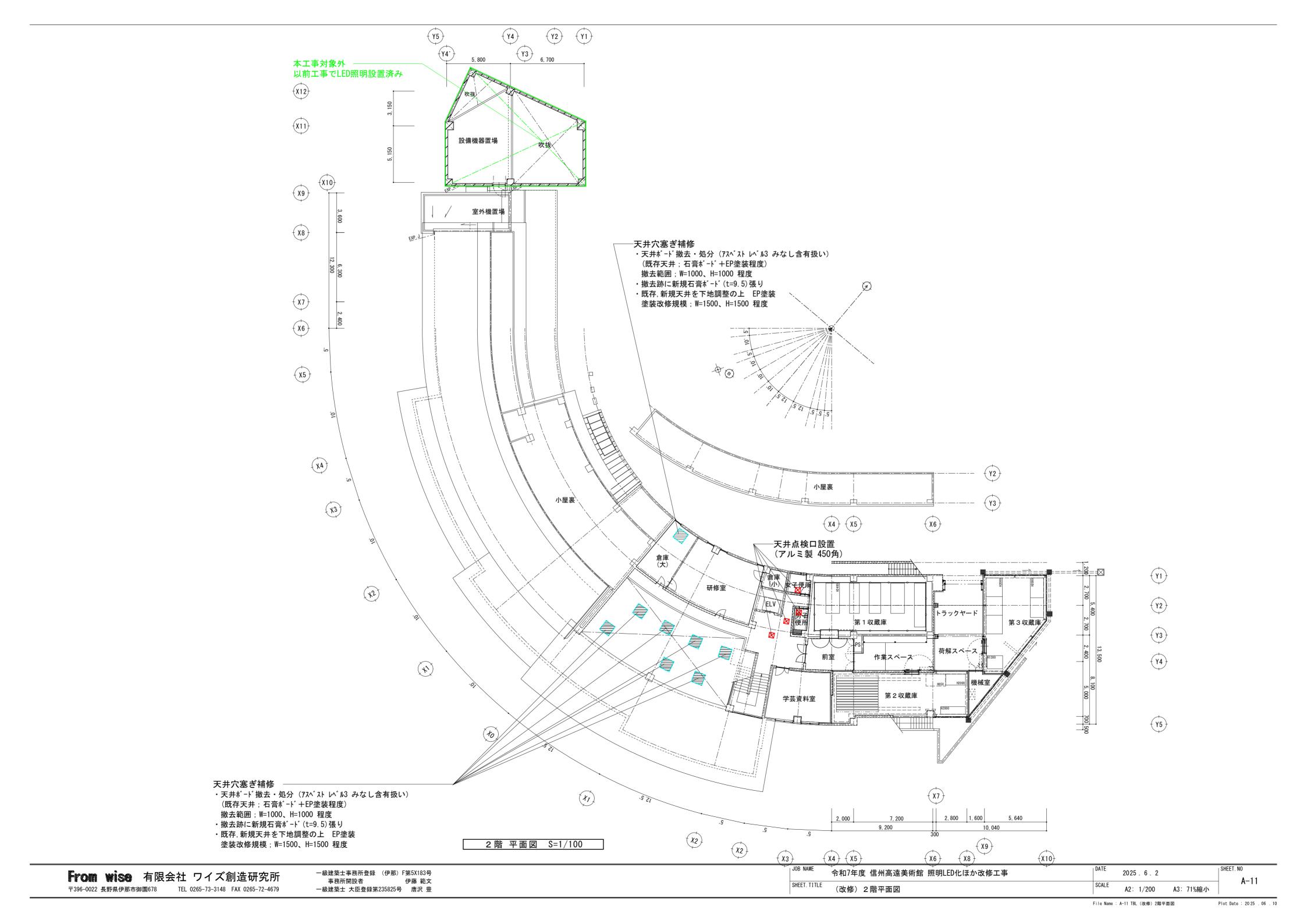
File Name : A-06 TBL 概要・案内・配置図

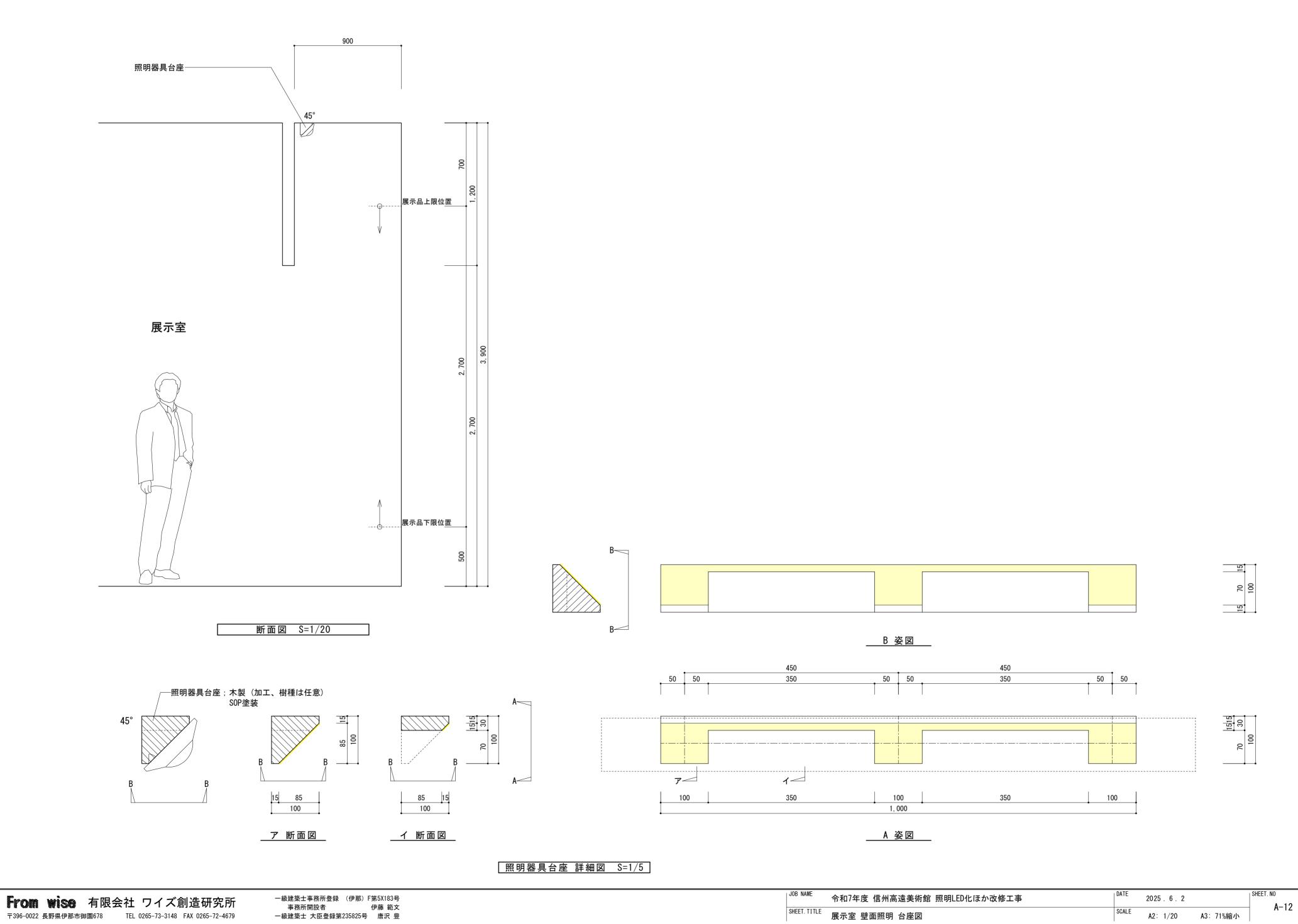












File Name : A-12 TBL 展示室 壁面照明 台座図

| 工事概要

1 エ 事 場 所 伊那市高遠町東高遠400番地

2 建物概要

建物名称	構造	階 数	延 面 積 (m³)	消防法施行令 別表第一の区分	備考
信州高遠美術館	RC · S	2	1, 524. 66	(8)	建築面積;1,232.79

3 エ事種目 (〇印のついたものを適用する。)

_ +		建	物別	及 び 屋	外
工事種目	項目	美術館 本体	外構		
電 灯 設 備		•	•		
動 力 設 備	幹線、分岐				
電 熱 設 備	幹線、分岐				
雷保護設備					
受 変 電 設 備					
電力貯蔵設備					
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置				
発 電 設 備					
構内情報通信網設備	電話用配管				
構内交換設備	電話設備				
情 報 表 示 設 備	時計設備				
映像 · 音響設備					
拡 声 設 備					
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐 車 場 管 制 設 備					
防犯・入退室管理設備	予 備 配 管				
自動火災報知設備					
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇 降 機 設 備					

4 図面目録

番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
1		21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38/	
1,9		3/9	
20		40	

Ⅱ 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準 仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準 仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工 事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用 する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

項目	特 記 事 項
)機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。
/ 1)X 1/1 1/1	ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(〇印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たす
	ものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたこと
	を示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。
	材料・機材名 材料・機材名
	○ LED照明器具 ・電気錠 ・ ・
	・
	○ (社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材
	1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
	3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法冷等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。
	5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
	6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
化学物質を発散する 建 築 材 料 等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する ものとし、次の (1) から (5) を満たすものとする。
E * 10 17 9	(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル
	ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを
	放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて
	少ないものとする。
	(3)接着剤はフタル酸ジー n ーブチル及びフタル酸ジー 2 ーエチルヘキシルを含有しない難 揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを
	放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が
	極めて少ないものとする。
	(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他
	の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデ ヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外の
	ものを使用するものとする。
	ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
	また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該 当 す る 建 築 材 料 ① JIS及 UJASの F☆☆☆☆ 規格品
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
	③下記表示のあるJAS規格品
	a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	規 制 対 象 外 b 接着剤等不使用
	c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	させない塗料使用
	f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	させない塗料等使用
	① JIS及びJASの F☆☆☆規格品 第 三 種 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのEO規格品
	④ IE JASの F 〇〇規格品
施 工 条 件 明 示 項 目電 気 保 安 技 術 者	●公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」 工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務
日间又入口	工争現場の電気工作物(電路、日期扉、日期シャッター、電期候等も含む)の味女果物 を行うものとする。
電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
実施工程表及び	①実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
施工計画書	②工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は
	監督職員の承諾を受けること。
使用材料発注先調書 発 生 材 の 処 理	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ④無 ・有 ()
70 I 17 00 Z Z	(2)引渡しを要するもの以外 ●構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。
	(3)特別管理産業廃棄物 ・有 (PCB使用機器:関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)
	(4) 再利用又は再資源化を図るもの
	・無 ・ 有(・ 廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・ 金属くず・ダンボール類)
监督員事務所	●設けない・設ける(規模:
工事用仮設物	・備品() すべて請負者の負担とする。
— チ /13 以 政 初	すべく請貝者の貝担とする。 構内に作ることが ●できる ・できない
足場・さん橋類	・ 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
	・本工事で設置する。
	・内部仮設足場等(・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・)
	・外 部 足 場 (・A種 [施工箇所面に枠組足場を設ける。] ・B種 [施工箇所面に単管本足場を設ける。]
	・C種 [仮設ゴンドラを使用する。] ・D種 [移動式足場を使用する。])
事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に
	要する費用は請負者の負担とする。

特 記 事 (14)工 事 写 真 工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。 15 しゅんエ時提出物 別添「伊那市営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。 16 再 使 用 機 器 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 (17) 耐 震 施 エ 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術 政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震 強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 設置場所 機器種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 2. 0 水槽類 (※1)
 2.0
 1.5
 1.5
 1.0

 1.5
 1.0
 1.0
 0.6
 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 水槽類 (※ 1) 1.5 1.0 1.0 1.0 水槽類(※1) 0.6
 機
 器
 1.0
 0.6
 0.6
 0.4

 防振支持の機器
 1.0
 1.0
 1.0
 0.6

 水槽類(※1)
 1.5
 1.0
 1.0
 0.6

(※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。

◎重要機器の定義は次による。

- ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・
- ◎上層階の定義は次による。
- 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、
- 10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
- 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
 - (1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の2節8.2.4及び10節による。
- (18) あと施エアンカー
 - (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。
- (引抜き試験を ・ 実施する 🕢 実施しない)
- |19 防 火 区 画 等 の | 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、 貫 通 処 理 貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
- 表記されたものを使用する。
- (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
- 21) 予備配管 | 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器 4 個以下の場合は (25)を 1 本 5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。
- (22) 呼 び 線 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
- 23) 金属製電線管の塗装 下記の露出配管は塗装を行う。
- ●屋 外 ●屋 内(機械室 24 埋 め 戻 し 土 ・A種 [山砂の類:水締め、機器による締固め] ・B種 [根切り土の中の良質土:機器による締固め]
- · C種 [他現場の建設発生土の中の良質土:機器による締固め] ・D種 [再生コンクリート砂:水締め、機器による締固め]
- ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める 25 建設発生土の処理 ・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し 26 ケーブル埋設票 (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製
- (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750㎜を超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。
- ② プルボックス (1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 28 フラッシュプレート 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製
 - プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示 (29) プレートの用途表示 した略標をつける。
 - タンブラスイッチは連用形とする。 (30) 配 線 器 具 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を
- 使用して良い。また (2P15A) 以外はすべてキャップ付とする。 31 機 器 へ の 接 続 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
- 32 照 度 測 定 ・ 測定場所: ・ 各室 (測定箇所数 箇所) ・ 廊下 ・ 階段 用 途: ① 非常用照明 • 一般照明 学校施設における室内照度測定(測定教室: 個所、 測定黒板面: 個所)
- ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する
- 33 盤 類 (1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を 収納する。
- (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 |34 グリーン購入の推進 | 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目
- <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・(<建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器
- 35 他工事又は他工種 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。 との取り合い 36 その他及び電子納品
- 保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書) 37 その他 施工制約条件

有限会社 ワイズ創造研究所 〒396-0022 長野県伊那市御園678

TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679

一級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 伊藤 範文 事務所開設者 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊

3 ハンドホール

- 下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。) ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
- ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
- ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。
- ・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。 ・配管貫通部は、原則として根巻きコンウリート(F=18N/mm以上)とし、差し筋D10タテヨコ@200で補強する。 ・補強方法については、あらかじめ監督員にハンドホール製作図を提出して承諾を受けて施工する。

ハンドホール	1、500×1、500×1、500D	底部 GL-1、740以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	1、200×1、200×1、500D	底部 GL-1、700以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	1、000×1、000×1、400D	底部 GL-1、600以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	1、000×1、000×1、100D	底部 GL-1、300以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	1、000×1、000× 900D	底部 GL-1、060以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	900× 900×1、100D	底部 GL-1、260以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
ハンドホール	900× 900× 900D	底部 GL一1、060以上
No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール No	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール	450× 450× 680D	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、
No	蓋 WPM-45B (Eマーク入)	収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

A 種 接 地	銅板1. 5 t × 9 0 0 × 9 0 0 補助接地棒(連結式1 0 ϕ × 1 、 5 0 0) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2 m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
B 種 接 地	銅板 1. 5 t × 6 0 0 × 6 0 0 補助接地棒(連結式 1 0 ϕ × 1 、 5 0 0) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2 m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
C 種 接 地	銅板 1. 5 t × 3 0 0 × 3 0 0 補助接地棒(連結式 1 0 φ × 1 、 5 0 0) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 1. 5 m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
D 種 接 地	接地棒 (10 φ × 1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
i	取 引 用 計 器 引 込 開 閉 器 盤 盤 分 電 盤	地上~上端床上~中心	1,800 1,500 1,500 上端1,900以下) 1,300 1,100 300 150 500	時計·拡声 表 示	壁掛形親時計子時計壁掛形スピーカーアッテネーター	床上~中心	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300
e e	タンブラスイッチ " (身障者用) コンセント(一般) " (便所等) " (任上) ブラケット(一般) " (踊場)	"" "" 台上~中心 床上~中心			表壁 付 信 ポープ	床上~中心 "" "" "" ""	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000 1,800
ţ	" (鏡上) 避難口誘導灯廊下通路誘導灯	鏡端~中心 床上~下端 床上~上端	150 1,500以上 1,000以下	インタ	壁付インターホン (身障者用)壁付位置ボックス	床上~中心	1, 500 1, 100
3	壁掛形制御盤	床上~中心	1,500 (上端1,900以下) 1,500	ーホン	(壁付インターホンを除く) " (一般) " (和室)	"	300 150
7	操作スイッチ・押ボタン	"	1, 300	テレビ共	機 器 収 容 箱 ア ウ ト レ ッ ト	床上~中心	(天井高)×0.9
ē	室 内 端 子 盤 (廊下・室内) 中間 端 子 盤	床上~下端床上~中心	300 1, 500	共同受信	" (一般)" (和室)	"	300 150
90	(EPS・電気室) 集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般) "(和室)	" " "	(天井高)×0.9 300 150	火災報	受 信 機 機 機 機 発 信 官 容 経 に に 容 器 に に の に に の に に の に に の に に の に に の に 。 に の に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	床上~操作部 "床上~中心 "	800~1,500 800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8

伊那市建設部

エ 事 名 令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事

^{図面番号} E-01 図面名称 電気設備工事特記仕様書

2025 . 6 . 2

2012.06改訂

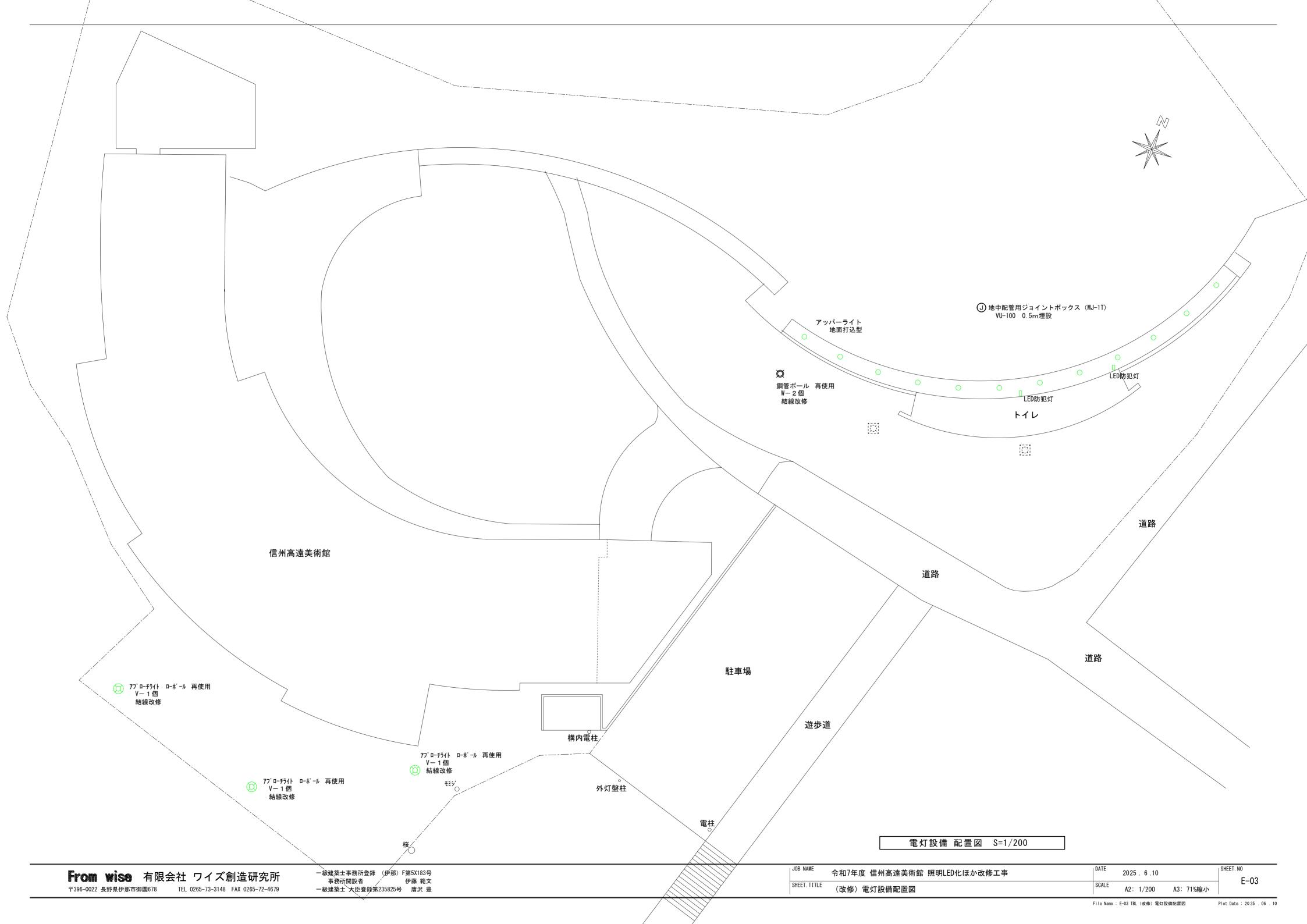
照明器具姿図

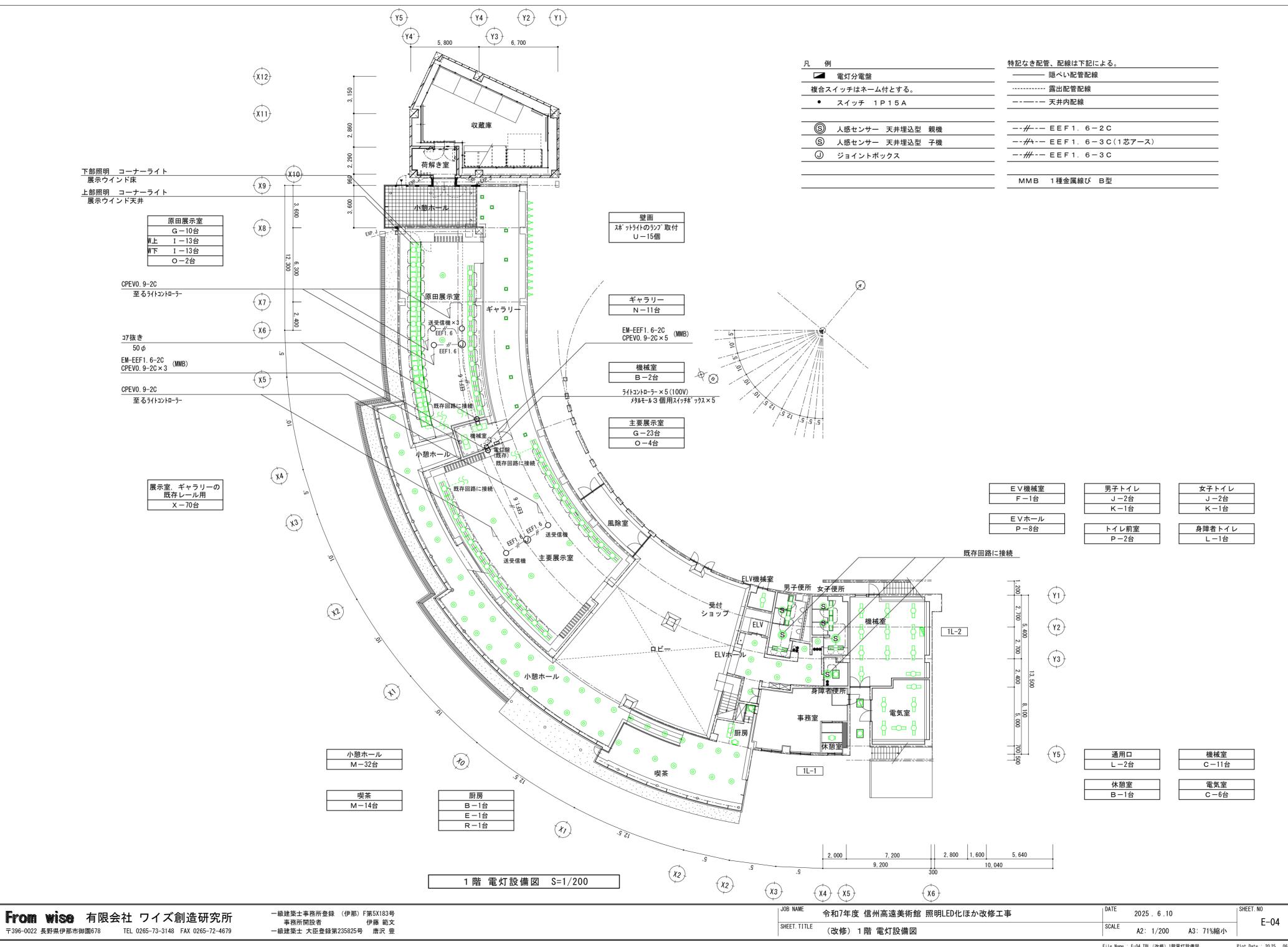
A 直付型 4 O 形	B 直付型 4 O 形	C 直付型 4 O 形	D 直付型 4 O 形	E 直付型20形	F 直付型 4 O 形 反射笠付型
一般タイプ、6900 I mタイプ 消費電力43. 1 W、定格出力型、電圧100~242 V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	一般タイプ、52001mタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	一般タイプ、32001mタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	一般タイプ、25001mタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	一般タイプ、32001mタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	一般タイプ、32001mタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵
X	XLX450DENPLE9	XLX430DENPLE9	X L X 4 2 0 D E N P L E 9	XLX230DENCLE9	X L X 4 3 0 K E N P L E 9
G 直付型40形 Dスタイル W150	H 欠番	I 直付型40形 コーナーライト	ライコン 無線調光システム	ライコン 調光リモコン	J 埋込型40形 下面開放型 W300
			···.		
PiPit調光、一般タイプ、100001mタイプ 消費電力56.4W、定格出力型、電圧100~242V 通信周波数 920MHz帯、約5~100%連続調光型 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 温白色(3500K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵		PiPit調光、一般タイプ、69001mタイプ 消費電力43.5W、定格出力型、電圧100~242V 通信周波数 920MHz帯、約5~100%連続調光型 本体:亜鉛鋼板、反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 温白色(3500K)、Ra83、 電源装置はライトバー側に内蔵	定格電圧:AC100V〜242V 適合負荷:デジタル調光LED照明器具(起動方式RZ)	リモコンホルダ同梱	一般タイプ、52001mタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光東維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、 電源装置はライトバー側に内蔵
K 埋込型40形 下面開放型 W300	L 埋込型20形 下面開放型 W300	XLX460CEVTRZ9 M 傾斜天井LEDダウンライト 100形	NQ23185K 	NK23041 O ダウンライト 12Vミニハロゲン電球75形1灯器具相当 LED 100形	<u>埋込XLX450VENTLE9</u> P ダウンライト 60形
一般タイプ、5200 l mタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板	一般タイプ、1600 l mタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体: 亜鉛鋼板	LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>	LED<ワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット別売		LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色ター
反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、 電源装置はライトバー側に内蔵 NNL4500ENTLE NNL42732J右用	反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、 電源装置はライトバー側に内蔵	電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 器具光束:8801m、消費電力:7.6W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):アルミダイカスト(シルバーメタリックつや消し仕上) 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150	枠ユニット、一般タイプ 2700K、Ra85、広角タイプ 光源寿命4000時間(光束維持率70%) 灯具:アルミダイカスト、灯具ユニット別売 反射板:アルミダイカスト(シルパーメタリックつや消し仕上) 枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100 NTS51334 NTS91051W NTS90201LE9	灯具ユニット別売 反射板:アルミダイカスト (シルバーメタリックつや消し仕上) 枠:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) 埋込穴φ100 NTS51334 NTS91051W 枠ユニット NTS90201LE9 電源ユニット	5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:615 lm、消費電力:4.2W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):鋼板(銀色鏡面仕上) 枠:鋼板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150
NNLK42732J右用 NNLK42733J左用 Q ブラケット 40形電球1灯器具相当	埋込XLX210VENJLE9 R LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	X N D 1 0 6 1 A N L E 9	STE9S リニューアルプレート150日 T・U・V LED電球	NNN80003Z リニューアルプレート150φ W LEDランプ (E39) 8000 lm	XND0669SNLE9 X 個別調光機能付LED高演色スポットライト 150形
電球色(2700K)、Ra80、光源寿命40000時間(光東維持率70器具光東2721m、消費電力4.3W、電圧100V 防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 アルミダイカスト(オフブラック) カバー:ガラス(乳白つや消し)	 昼白色(5000K)、Ra83 器具光束980 lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付カバー: プラスチック(乳白) 	LED内蔵 < ワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイ調光可能範囲(約5%~100%)、5000K、Ra70、拡散タイプ 光源寿命:60000時間(光東維持率80%)、光源遮光角15度 器具光束:179001m、消費電力:130.5W、電圧:100-242 枠:鋼板(ホワイトつや消し仕上) 反射板(上部)、反射板(下部):アルミ(銀色鏡面仕上)	T:LDA7D-D-G/S/Z6/F 60型相当昼光色 相当品 U:LDR7LWHB10 ビームランプ 電球色 相当品 V:LDA7L-D-G/S/Z6/A/1K 60型相当電球色 相当品	LEDライトバルブ 48W 昼白色(E39) 電源ユニット	個別調光ボリューム付 調光範囲:0%、約0.5~100% 2700K、高演色Ra95、中角22° 器具光束8651m 消費電力14.0W、100V配線ダクト用 ホワイト仕上
	ガハー・フラス ブララ (乳口)	埋込穴: φ400 XND9940SSKLR9		LDTS48N-G-E39A	
LGW85004BF a LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付	LGB52095LE1	NKO9915Z 角度指定加工		LE056035HSZ1/2. 4-A2	NNQ32084WKLE1
φ 150低天井用 (~3 m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号: LALE-004 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上					
電圧:100~242V、蓄電池:二ッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 NNFB91615C					

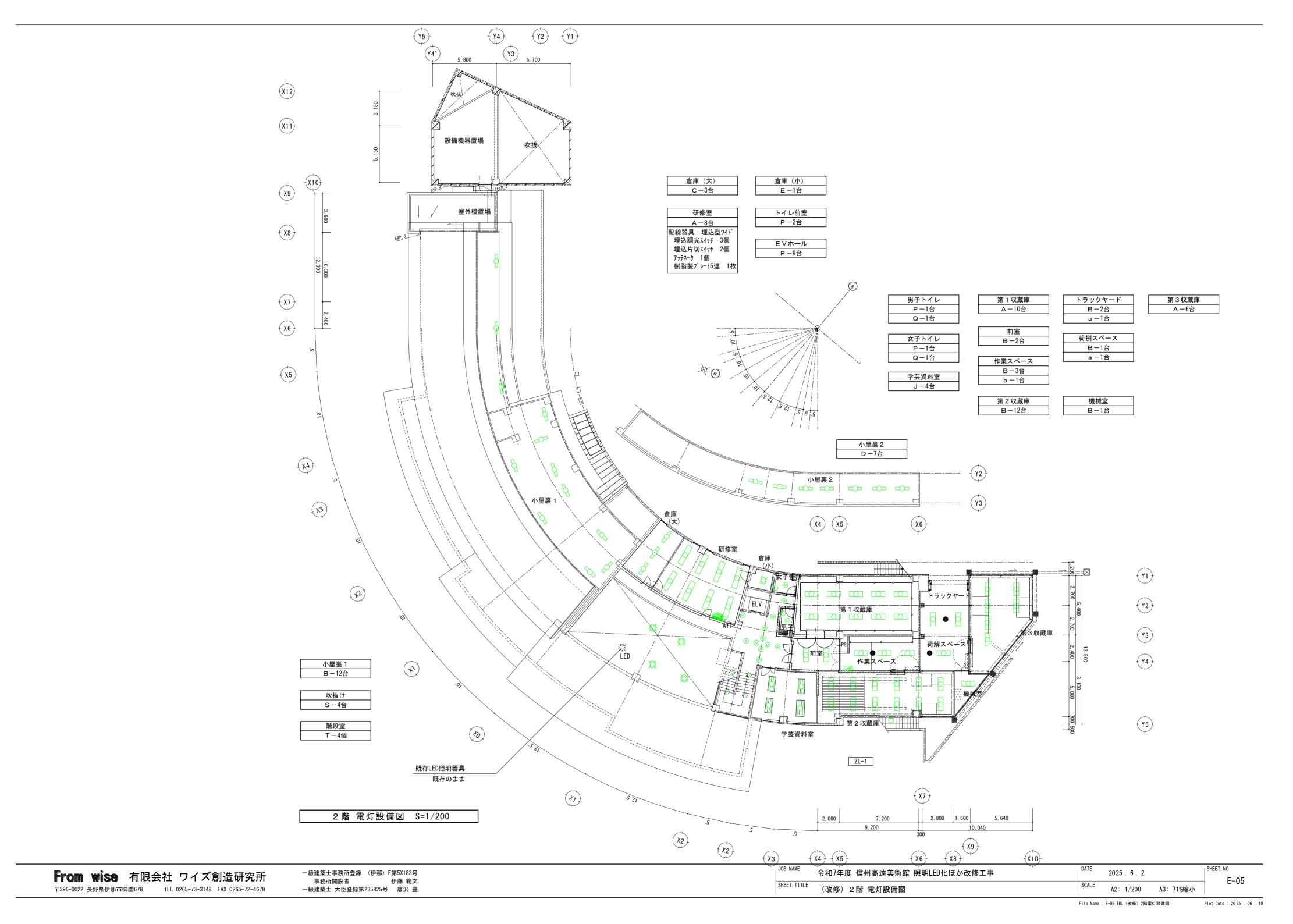
表中の型番は参考とする。

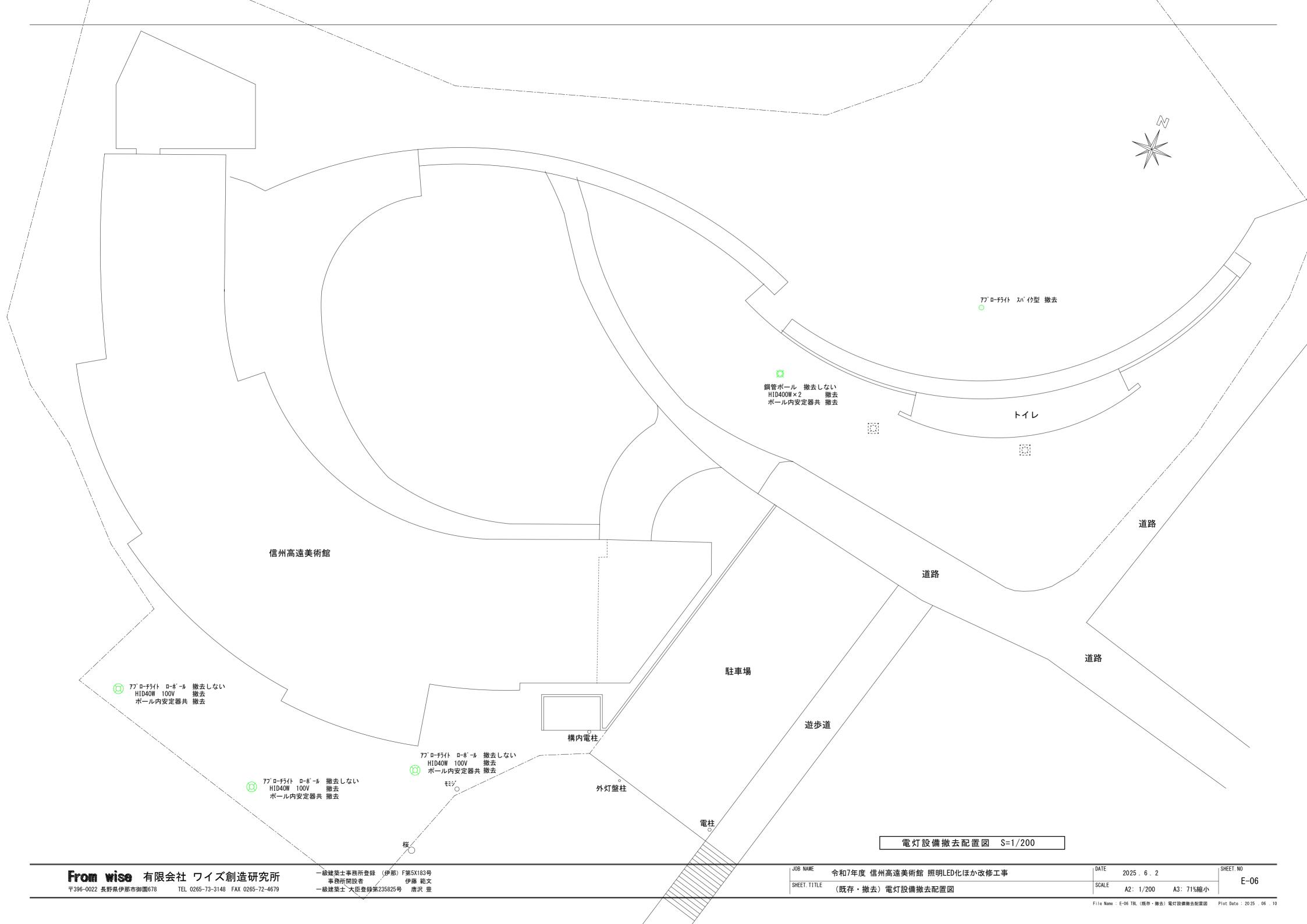
From wise 有限会社 ワイズ創造研究所 〒396-0022 長野県伊那市御園678 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679 一級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 事務所開設者 伊藤 範文 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊 JOB NAME 令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事 SHEET. TITLE 照明器具姿図

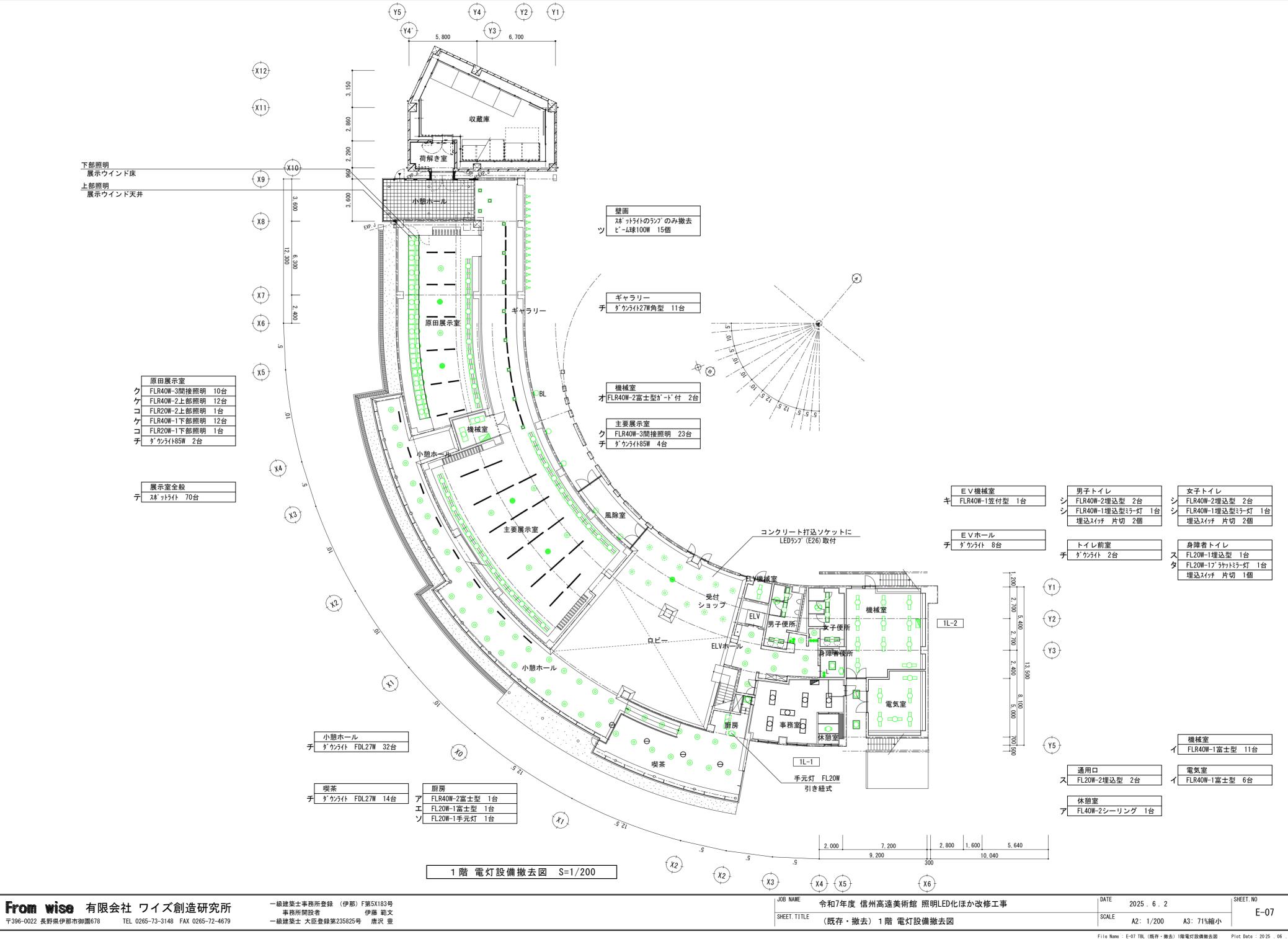
DATE 2025 . 6 . 2 SCALE A2: NO SCALE A3: 71%縮小

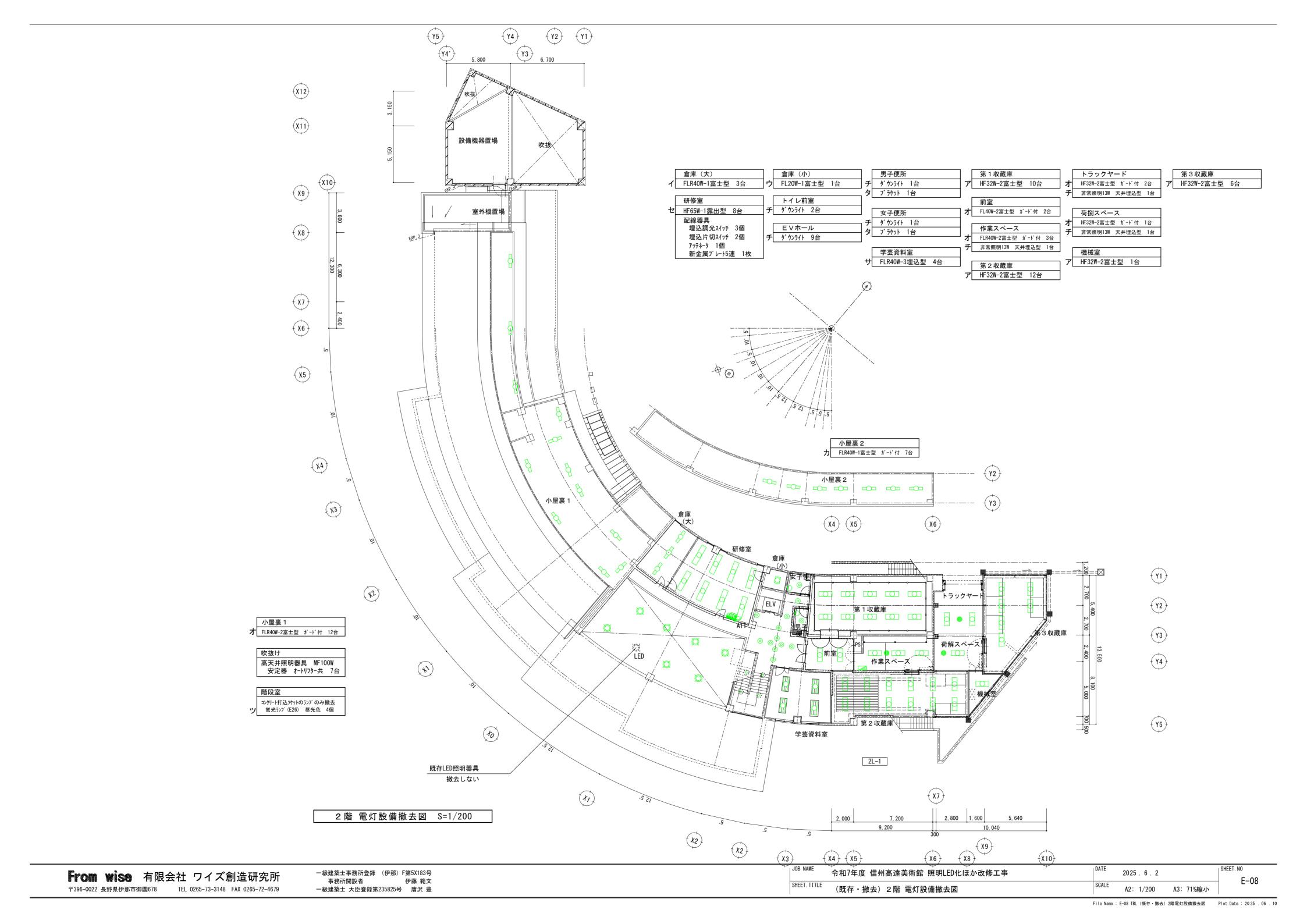


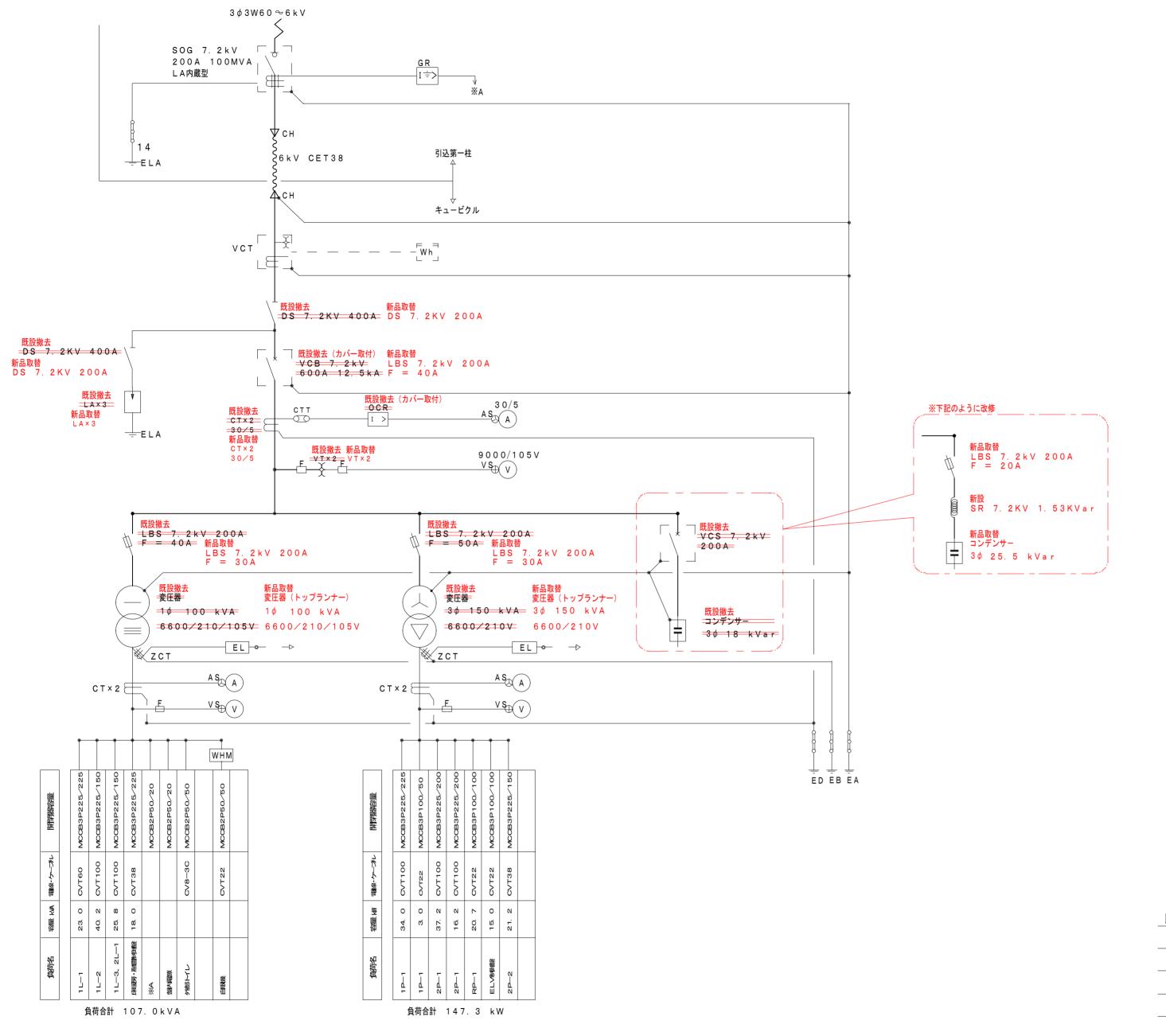


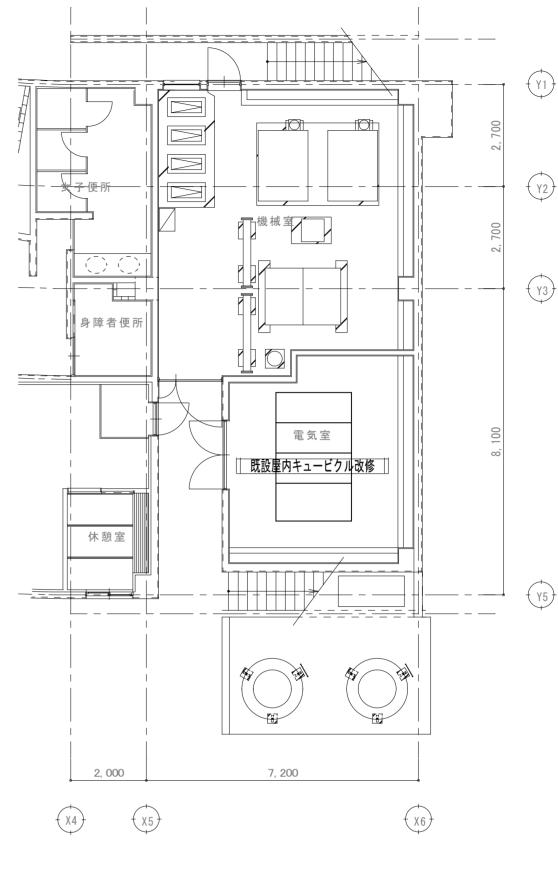












平面図 1:100

既設屋内キュービクル改修凡例

- ・図示の改修を行う。
- ・高圧機器(トランス、コンデンサー)の一次側ケーブルは新品に取り換える。
- ・施設内の停電出来ない機器について事前調査を行い、小型発電機によりバックアップを行う。
- ・撤去機器(トランス、コンデンサー)についてはPCB含有調査を行い、含有が認められた
- 場合は監督員に報告、指示によること。

単線結線図

From wise 有限会社 ワイズ創造研究所 〒396-0022 長野県伊那市御園678 TEL 0265-73-3148 FAX 0265-72-4679

一級建築士事務所登録 (伊那) F第5X183号 事務所開設者 伊藤 範文 一級建築士 大臣登録第235825号 唐沢 豊

 JOB NAME
 令和7年度 信州高遠美術館 照明LED化ほか改修工事
 DATE
 2025 . 6 . 6

 SHEET. TITLE
 受変電設備図
 SCALE
 A2: 1/100

2025 . 6 . 6 A2: 1/100 A3: 71%縮小

Plot Date : 20 25 . 06 . 10